

PC98-NX シリーズ Mate J タイプMH (コンパクトタワー型)

<mark>活用ガイド</mark> ハードウェア編

本体の構成各部

周辺機器を接続する前に

周辺機器の利用

システム設定





このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、 Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、 また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作がひと通りでき、 Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法 を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれていま す。

もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上記の基本事 項を関連説明書などでひと通り経験してから、このマニュアルをご利 用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できる ようになっているため、各モデルの仕様に合わせてお読みください。

仕様についての詳細は、『はじめにお読みください』の「9 付録 機能一覧」をご覧ください。

2007年1月初版

このマニュアルの対象機種について

◆ このマニュアルの対象機種は、次のタイプおよび型番です。

PC98-NXシリーズ Mate J

タイプMH | MJ30V/H-2、MJ26X/H-2 (コンパクトタワー型) |

型番の調べ方、読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。 また、マニュアル中の説明で、タイプ名や型番を使用している場合があります。

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

& Fxy9!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明してい ます。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作った データの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコン の破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、 「注意事項」としてまとめて説明しています。
×E	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

本機、本体	このマニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表 記します。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵しているモデルを指します。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルを指します。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルを指 します。
DVDスーパーマルチ モデル	DVDスーパーマルチドライブを内蔵しているモデルを指しま す。
CD/DVDモデル	CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブを内 蔵しているモデルを指します。

指紋センサ機能付きUSB 109キーボードモデル	指紋センサ機能付きUSB 109キーボードを選択したモデルを指 します。
FeliCa対応 モデル	「FeliCaポート(外付け)」を添付しているモデルを指します。
BIOSセットアップ ユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画 面上では「BIOS SETUP UTILITY」と表示されます。
CD/DVDドライブ	CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブを指 します。書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類 を記載します。
「スタート」ボタン	画面左下にある 💎 ボタンを指します。
「アプリケーション CD-ROM」	本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を 指します。
「スタート」ボタン→ 「すべてのプログラム」 →「アクセサリ」→ 「メモ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニュー から「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を順にク リックする操作を指します。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。 【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】 キーを押すことを指します。 『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

◆ このマニュアルで使用しているイラスト、画面、記載内容について

・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

◆ デバイスマネージャの開き方

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「デバイス マネー ジャ」をクリック
- 3 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は「続行」ボ タンをクリック 「デバイス マネージャ」が表示されます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連 絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vistaおよび本機に添付の CD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、 著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10)本書に記載しているWebサイトや連絡先は、2006年12月現在のものです。

Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows Aero, Outlook, Windows Mediaおよび Windowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標また は商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。 インテル、Intel、Celeron、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポ レーションまたはその子会社の商標または登録商標です。 TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。 Roxio Easy Media Creatorは、Sonic Solutionsの登録商標です。 InterVideo、およびWinDVDはInterVideo. Inc.の登録商標です。 Copyright 2007 InterVideo, Incorporated, All rights reserved. Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995 PS/2はIBM社が所有している商標です。 「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。 「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。 「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。 ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。 Phoenixは、Phoenix Technologies Ltd.の登録商標です。 DeviceProtectorは、NECパーソナルプロダクツ株式会社の商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2007 日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはで きません。

■輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省 の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入項いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせく ださい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC^{*1} does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目 次

PART

1

本体の構成各部	
各部の名称	16
本体前面	16
本体背面	18
電源	21
電源の状態	21
電源の入れ方と切り方	23
省電力機能について	24
省電力機能使用上の注意	24
スリープ状態	27
休止状態	28
省電力機能の設定	30
電源の自動操作	33
キーボード	34
添付されるキーボードの種類	34
使用上の注意	34
キーの名称	36
キーの使い方	39
キーボードの設定	40
マウス	41
マウスについて	41
ディスプレイ	43
使用上の注意	43
画面表示の調整	43
解像度と表示色	43
別売のディスプレイを使う	49
ディスプレイの省電力機能	49
ハードディスク	50
使用上の注意	50
ハードディスクのメンテナンス	51
フロッピーディスクドライブ	
使用上の注意	52

フロッピーディスク	ドライブの取り付け 53
使用できるフロッピ-	-ディスクの種類 53
フロッピーディスクの	0内容の保護 54
CD/DVDドライブ	55
使用上の注意	
各部の名称と役割	
使用できるディスク	
読み込みと再生	
書き込みとフォーマン	ット 59
非常時のディスクの耳	又り出し方
サウンド機能	61
音量の調節	
マイクの設定	
LAN(ローカルエリアネッ	[,] トワーク)63
LANへの接続	
運用上の注意	
LANの設定	
リモートパワーオン樹	幾能(Remote Power On機能)の設定 67
ネットワークブート様	幾能(PXE搭載)70
USBコネクタ	71
使用上の注意	
接続する前に	
USB機器の取り付け	
USB機器の取り外し	
セキュリティ機能/マネ	ジメント機能74
セキュリティ機能/う	マネジメント機能について
セキュリティ機能	
マネジメント機能	

PART	周辺機器を接続する前に	83
	周辺機器利用上の注意	
()	接続前の確認	84
	プラグ&プレイについて	85
	デバイスドライバのインストール	85
	接続がうまくできない場合	86
	周辺機器の取り外しと再接続	87
PART	周辺機器の利用	89
	接続できる周辺機器	90
2	本体に接続できる周辺機器一覧	
U U	本体カバー類の開閉	
	ルーフカバーの開け方	
	ルーフカバーの閉じ方	
	ケーブルストッパ	
	取り付け前の確認	98
	ケーブルストッパの取り付け	
	ケーブルストッパの取り外し	100
	メモリ	101
	取り付け前の確認	101
	メモリの取り付け	103
	メモリの取り外し	105
	メモリ容量の確認	106
PART	システム設定	107
-	BIOSセットアップユーティリティについて	108
Λ	BIOSセットアップユーティリティの起動	108
4	BIOSセットアップユーティリティの終了	108
	工場出荷時の設定値に戻す	109
	BIOSセットアップユーティリティの基本操作	110
	設定項目一覧	111
	「Main」メニュー	111

「Advanced」メニュー	112
「Security」メニュー	118
「Boot」メニュー	127

PART	付 録	
_	割り込みレベル・DMAチャネル	132
5	割り込みレベルとDMAチャネルについて	132
U	割り込みレベル	132
	DMAチャネル	133
	ストラップスイッチの設定	134
	設定前の確認	134
	パスワードの解除	134
	お手入れについて	138
	お手入れを始める前に	138
	お手入れのしかた	139
	マウスのクリーニング	140
	索 引	143



本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的に合わせて該当するページを お読みください。

この章の内容

各部の名称	16
電源	21
キーボード	34
マウス	41
ディスプレイ	43
ハードディスク	50
フロッピーディスクドライブ	52
CD/DVDドライブ	55
サウンド機能	61
LAN(ローカルエリアネットワーク)	63
USBコネクタ	71
セキュリティ機能/マネジメント機能	74



本体の各部の名称と役割について説明しています。 各部の取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照 ページをご覧ください。

本体前面

◎タイプMH(コンパクトタワー型)



※:ヘッドフォン端子は、機種によっては、ない場合があります。

CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMド ライブ、またはDVDスーパーマルチドライブが内蔵されています。内蔵 されているドライブはお使いのモデルによって異なります。 詳しくは「CD/DVDドライブ」(p.55)をご覧ください。

②電源ランプ(①)

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているとき、およびスリー プ状態のときに点灯します。 詳しくは「電源 | (p.21)をご覧ください。

③電源スイッチ(([|]))

本体の電源の状態を変更するスイッチです。 詳しくは「電源」(p.21)をご覧ください。

④通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。物を載せたり壁などでふさが ないように注意してください。

⑤スタビライザ

本体を安定させるための脚です。

⑥ヘッドフォン端子(())

ミニプラグのステレオ ヘッドフォンを接続する端子です。ヘッドフォン を耳にあてたままジャックの抜き差しをしないでください。

⑦ハードディスクアクセスランプ (🖯)

内蔵のハードディスクドライブにアクセスしているときに点灯します。

ハードディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押さないでく ださい。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

⑧USBコネクタ(•↔)

▼↓チェック!_

USB機器を接続するコネクタです。本機のUSBコネクタは、USB2.0と USB1.1の機器に対応しています。USB2.0の転送速度を出すためには、 USB2.0対応の機器を接続する必要があります。 詳しくは「USBコネクタ」(p.71)をご覧ください。

本体背面



◎ タイプMH(コンパクトタワー型)

①通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注 意してください。

本体上部に通風孔があるモデルの場合は、特に通風孔に物などを置いて ふさがないよう十分注意してください。

②PS/2 キーボードコネクタ(====)

PS/2接続のキーボード(ミニDIN6ピン)を接続するコネクタです。 詳しくは「キーボード」(p.34)をご覧ください。

③アナログRGBコネクタ(〇)

アナログインターフェイスのディスプレイを接続するコネクタです。 詳しくは「ディスプレイ」(p.43)をご覧ください。

④USBコネクタ(•↔)

USB機器を接続するコネクタです。本機のUSBコネクタは、USB2.0と USB1.1の機器に対応しています。USB2.0の転送速度を出すためには、 USB2.0対応の機器を接続する必要があります。 詳しくは「USBコネクタ」(p.71)をご覧ください。

⑤LANコネクタ(品)

LANケーブルを接続するコネクタです。

通信速度ランプ ー ー ネットワーク通信/接続ランプ (ACT/LINK) LANコネクタ

・通信速度ランプ

・1000Mbpsネットワーク接続時はオレンジ色に点灯します。

・100Mbpsネットワーク接続時は緑色に点灯します。

・10Mbpsネットワーク接続時は点灯しません。

・ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LINK)

ネットワーク上で読み込みや書き込みが発生すると点滅します。 また、ハブやスイッチから、リンクパルスを受信すると点灯します。 ただし、必ずしも本機の読み込みや書き込みとは限りません。 市販のオーディオ機器へ音声信号を出力する端子です。

⑦ライン入力端子(ミニジャック)((())

市販のオーディオ機器から音声信号を入力する端子です。

⑧マイク端子(ミニジャック)(》)

市販のマイクを接続する端子です。

⑨スライドストッパ

本体のルーフカバーを固定します。

参照 ルーフカバーの取り付けと取り外しについて

→ 「PART3 周辺機器の利用」の「本体カバー類の開閉」(p.92)

⑩AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。 添付の電源コードを接続します。

①筐体ロック(成)

ロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。 詳しくは「セキュリティ機能/マネジメント機能」(p.74)をご覧くださ い。

12 PS/2 マウスコネクタ(ウ)

PS/2接続のマウス(ミニDIN6ピン)を接続するコネクタです。テンキー 付きPS/2小型キーボードのモデルでは、キーボードのケーブルがキー ボード用とマウス用に分岐しているので、マウス用のケーブルを接続し ます。なお、PS/2接続のマウスはキーボードに接続します。 詳しくは「マウス」(p.41)をご覧ください。

①ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。ケーブルストッパは、添付品収納箱に入ってい ます。

参照 ケーブルストッパについて

→ 「PART3 周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」(p.98)

電源

ここでは電源の入れ方や切り方、省電力機能について説明します。電源の 切り方を間違えるとデータやプログラムの破損や、本機の故障の原因にな る場合があるので、特に注意してください。

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」 「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。



◆電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

◆スリープ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクやディスプ レイを省電力状態にして消費電力を抑えます。メモリ内のデータを保持 するための電力は供給されているので、すぐに作業を再開できます。

メモ

本機ではハイブリッドスリープを使用する設定になっています。 ハイブリッドスリープはスリープ状態時に電力の供給が絶たれた場合に 備え、メモリとハードディスクの両方にデータを保存するため、作業内容 をより安全に維持します。

なお、ハイブリッドスリープが使用する設定になっている場合、「「スタート」ボタンから休止状態にする」(p.29)の手順で休止状態にすることはできません。この方法で休止状態にしたい場合は、ハイブリッドスリープの設定を使用しないに設定してください。

参照〉・ ハイブリッドスリープについて→Windowsのヘルプ

・休止状態について→『活用ガイド ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「省電力機能」

◆休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクに保存し、本体の電源を切ります。 もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

「 🍼 チェック!!

本機ではハイブリッドスリープが使用する設定になっているため、「「ス タート」ボタンから休止状態にする」(p.29)の手順で休止状態にするこ とはできません。 この方法で休止状態にしたい場合は、ハイブリッドスリープの設定を使 用しないに設定してください。

参照 ・ ハイブリッドスリープについて→Windowsのヘルプ

 ・休止状態について→『活用ガイド ソフトウェア編』の「トラブル解決 Q&A」の「省電力機能」

◆電源が切れている状態

本機の電源を完全に切った状態です。メモリなどの増設はこの状態で 行ってください。

電源の状態は、本体の電源ランプで確認することができます。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯 *
スリープ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯 *
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯*

※:使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

電源の入れ方と切り方

○電源を入れる

▼↓チェック!」

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。

本機のドライブに、フロッピーディスク(FDモデルの場合)やCD/ DVDディスクがセットされた状態で電源を入れると、それらのディ スクから起動したり、本機が起動できない場合があります。その場合 は、セットされているディスクを取り出してから、電源を入れ直して ください。

- いったん電源を切った後で、電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- メモリを増設した場合、メモリの組み合わせによっては、初期化のために電源を入れてから画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

1 周辺機器の電源を入れる

2 本体の電源スイッチを押す

○ 電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。

- Windowsやアプリケーションの起動中や、アクセスランプが点灯している場合は、本機の電源を切らないでください。
- アプリケーションのエラーなどでWindowsの操作ができない場合の 電源の強制切断方法については『活用ガイド ソフトウェア編』の「ト ラブル解決Q&A」の「電源を切るとき」をご覧ください。

◆「スタート」ボタンから電源を切る

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- **2** [スタート]ボタンをクリック

- 3 ▲▲ (「ロック」ボタン)の横にある▲をクリックし、表示された メニューから「シャットダウン」をクリック シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。 電源スイッチは押さないでください。
- 4 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、 周辺機器の電源を切る
- ◆電源スイッチを押す
- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- **2** 電源スイッチを押す シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。
- 3 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、 周辺機器の電源を切る

省電力機能について

省電力機能とは、CPUやハードディスク、ディスプレイといった、本機の 主要な部分への電力供給を停止することで、本体の消費電力を抑える機 能です。また、作業を一時的に中断したい場合や、中断した作業をすぐに 再開したい場合にも便利な機能です。

本機の省電力機能には、「スリープ状態」「休止状態」があります。

- 参照 /・スリープ状態について→「スリープ状態」(p.27)
 - ・休止状態について→『活用ガイド ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」 の「省電力機能」

省電力機能使用上の注意

◎ スリープ状態または休止状態を利用できないとき

次のような場合には、スリープ状態または休止状態にしないでください。本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなる場合があ ります。

- ・プリンタへ出力中
- ・ 通信用アプリケーションを実行中

- ・ LANまたは無線LANを使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
- ・ 音声または動画を再生中
- ・ ハードディスク、CDやDVD、フロッピーディスクなどにアクセス中
- Windowsの起動/終了処理中
- スリープ状態または休止状態に対応していないアプリケーションを使用しているとき
- スリープ状態または休止状態に対応していないPCカード、コンパクト フラッシュカード、USB機器を使用しているとき

◎ スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- スリープ状態のときに次のことが起きると、作業中のデータは失われます。
 - ・ 電源コードが本体やACコンセントから外れたとき
 - ・ 停電が起きたとき
 - ・ 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき
- スリープ状態または休止状態にする場合は、次のことに注意してください。
- ・ スリープ状態または休止状態から復帰後、すぐにスリープ状態または 休止状態にする場合は、本機に負担がかからないように、復帰後、約5秒 以上経過してから操作してください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止 しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ 状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーション によっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが 失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーション を使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシス テム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してく ださい。
- ・ 通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終 了させてから、スリープ状態、または休止状態にしてください。
- SCSIインターフェイスボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しく復帰できない場合があります。このような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
- スリープ状態または休止状態への移行中は、各種ディスク、PCカード やコンパクトフラッシュカードなどを入れ替えないでください。デー タが正しく保存されない場合があります。
- スリープ状態または休止状態中に、機器構成を変更しないでください。
 正しく復帰できなくなる場合があります。

電源 25

- スリープ状態に移行する前にUSB機器を外してください。USB機器を 接続した状態では、スリープ状態に移行できない場合があります。
- スリープ状態または休止状態への移行中にはUSB機器の抜き差しを しないでください。
- 「電源オプションのプロパティ」で各設定を変更する場合は、コン ピュータの管理者権限(Administrator権限)を持つユーザーアカウン トでログオンしてください。
- ・CDやDVD、フロッピーディスクをセットしたまま休止状態から復帰 すると、正しく復帰できずにCDやDVD、フロッピーディスクから起動 してしまうことがあります。休止状態にする場合は、CDやDVD、フ ロッピーディスクを取り出してから休止状態にしてください。また、フ ロッピーディスクを使用している場合は、必要なファイルを保存して からフロッピーディスクを取り出してください。
- CD/DVDドライブにフォトCDをセットしたままスリープ状態または 休止状態にすると、復帰に時間がかかることがあります。
- スリープ状態のときに装置本体内のファンが作動する場合があります。

◎ スリープ状態または休止状態から復帰する場合の注意

スリープ状態または休止状態から復帰する場合は、次のことに注意して ください。

- スリープ状態または休止状態にしてからすぐに復帰する場合は、本機に負担がかからないよう、スリープ状態または休止状態になった後、約5秒以上経過してから操作してください。
- スリープ状態または休止状態中に周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更をしないでください。正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態、または休止状態からの復帰中にはUSB機器の抜き差し をしないでください。
- ・印刷中にプリンタが停止して「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが 残っている場合は、全てのドキュメントをキャンセルし、プリンタに接 続しているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次の場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・ アプリケーションが動作しない
- ・スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
- マウス、キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、ス リープ状態または休止状態にしないでください。

電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを約 4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れ ます。この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、工場出荷 時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してく ださい。

スリープ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクやディスプレ イを省電力状態にして消費電力を抑える状態です。メモリ内のデータを保 持するための電力は供給されているので、すぐに作業を再開できます。

∠**◇チェック**?/_____スリープ状態からの復帰は、状態の変更が 完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

◎スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態に するには、次の方法があります。

◆「スタート」ボタンからスリープ状態にする

1 「スタート」ボタンをクリックし、■○■(「電源」ボタン)をクリック

Windowsが終了し、スリープ状態になります。 Windowsの終了処理中は電源スイッチを押さないでください。

2 電源ランプを確認する

本体がスリープ状態になると、電源ランプが点滅します。

◎スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次 の方法があります。

◆電源スイッチを押す

1 電源スイッチを押す

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

- 2 ユーザ選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザを選 択する
- 3 パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザのパ スワードを入力する

◆マウスまたはキーボードを操作する

マウスのボタンをクリックするか、キーボードのキーを押してくださ い。

お使いのマウスによっては、マウスを動かすことでスリープ状態から 復帰できるものもあります。なお、本機をキーボードやマウスでスリー プ状態から復帰しないように設定することもできます。

参照 キーボードやマウスでスリープ状態から復帰しないようにする設定について →「活用ガイド ソフトウェア編」の「トラブル解決Q&A」の「省電力機能」

休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクに保存し、本体の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元 しますので、本機での作業を長時間中断する場合に、消費電力を抑えるの に有効です。

▼チェック!.

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了して から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

*****チェック!! 本機ではハイブリッドスリープが使用する設定になっているため、この 方法で休止状態にすることはできません。 この方法で休止状態にしたい場合は、ハイブリッドスリープの設定を使用 しないに設定してください。設定の変更方法については、『活用ガイド ソ フトウェア編』の「トラブル解決Q&A |の「省電力機能 |をご覧ください。

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。

◆「スタート」ボタンから休止状態にする

- **1** 「スタート」ボタンをクリック
- 2 ▲▲ (「ロック」ボタン)の横にある▲をクリックし、表示された メニューから「休止状態」をクリック 休止状態への移行処理後、電源は自動で切れますので、電源スイッ チを押さないでください。
- 3 電源ランプを確認する

本体が休止状態になると、電源ランプが消灯します。

◎休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順で 行います。

- **1** 電源スイッチを押す
- 2 ユーザ選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザを選 択する
- 3 パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザのパ スワードを入力する

省電力機能の設定

省電力機能の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。 「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用 するプランを選択するほか、新規のプランの作成ができます。 また、各種プランごとに省電力機能を実行するための操作の設定や、省電 力機能が実行されるまでの時間を設定することができます。

◎電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「電源オプション」を クリック
- 3 表示されているプランから使用したいプランを選択する 表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加のプラン を表示します」をクリックし、表示されたプランから選択してくだ さい。

4 ■ ボタンを押す

以上で電源プランの選択は完了です。

◎電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で 行います。

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「電源オプション」を クリック
- 3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック
- 4 表示された画面で設定を行う 電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
ディスプレイの	指定した時間何も入力が無い場合、ディスプレ
電源を切る	イの電源を切ります。
コンピュータを	指定した時間何も入力が無い場合、本機がスリ
スリープ状態にする	ープ状態になります。

メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な 設定が行えます。
- ・「このプランの既定の設定を復元する」を選択すると、設定値が既定の 値に戻ります。

5 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

◎電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「電源オプション」を クリック
- 3 「バランス」の◎をチェックした後、「プラン設定の変更」をクリック
- 4 「プラン設定の変更」欄で定義されているそれぞれの項目を設 定する
- 5 左のメニューから「電源プランの作成」をクリック
- 6 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを 選択する
- 7 「プラン名」欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」ボタン をクリック

8 表示される画面で設定を行う

9 「作成」ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「電源プランの選択」(p.30)の手順で選択ができます。

○省電力機能を実行する操作の変更

電源スイッチを押すことで実行される省電力機能を変更する場合は次の 手順で行います。

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行います。

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「電源オプション」に ある「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3 「電源ボタンの設定」欄で、動作を設定する

 電源ボタンを押して実行される省電力機能を設定する場合 「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。

4 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

電源の自動操作

タイマ(電源オプション)、LANからのアクセス(リモートパワーオン機能)によって、自動的に電源の操作を行うことができます。

タイマ、LANの自動操作によりスリープ状態から復帰をした場合、本体はス リープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状 態になる場合があります。この場合、マウスを動かすかキーボードのキーを 押すことによってディスプレイが表示されます。

◎タイマ機能(電源オプション)

▼↓チェック!

設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハー ドディスクへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電源 を切ったり、スリープ状態にすることができます。

工場出荷時は次のように設定されています。

ディスプレイの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	スリープ	
約20分	約20分	約25分	

メモ

本機は、省エネルギーのため工場出荷時に スリープ状態になるように設 定してあります。

◎ リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- ・「LAN (ローカルエリアネットワーク)」の「リモートパワーオン機能 (Remote Power On機能)の設定」(p.67)
 - 「セキュリティ機能/マネジメント機能」の「マネジメント機能」の「リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)」(p.82)

キーボード

ここでは、さまざまなキーボード、キーボードの使用上の注意について説 明します。

添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインターフェイス、キー配列 などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

キーボードの種類・名称		インターフェイス	キー配列
PS/2接続	PS/2 109キーボード		109配列
のキーボード	テンキー付きPS/2小型キーボード	P5/2	109準拠
USB接続の	USB109キーボード		109配列
キーボード	指紋センサ機能付きUSB109キーボード	058	109配列

使用上の注意

◎Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効になる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや、有効にならないことがあります。

◎USBキーボードの接続

電源が入った状態でUSBキーボードを抜き差しする場合、USBキーボードの取り外しや取り付けを、本機が認識するためには数秒~10秒程度必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返すとキーボード入力ができなくなることがあります。

キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USBキーボードを正 しく接続した後に、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切 り、Windowsを再起動してください。

、 *** チェック! _

指紋センサ機能付きUSB 109キーボードの接続は、本体のUSBコネクタに接続します。外部ハブを挟んで接続しないでください。

◎USB機器の電源容量による接続制限

USBキーボード(USB 109キーボード)の裏面には、USB機器を接続する ためのハブが2つあります。



片方のハブには添付のUSBマウスを接続します。もう片方のハブには別 売のUSB機器を接続して利用することができます。 USBキーボードのハブに別売のUSB機器を接続する場合は、次の制限が

ありますのでご注意ください。

USBキーボードのUSBハブは、USBバスパワードハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。

USB機器は、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデバ イス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続の キーボードに接続できるUSB機器は「ローパワーデバイス」のものに限 られます。

メモ ハイパワーデバイス、ローパワーデバイス

ハイパワーデバイス:接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。 ローパワーデバイス:接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

- ・ USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際 のシステム運用上では2段までの縦列接続で使用してください。
- ・ USBキーボードのハブにUSB2.0機器を接続すると、USB転送速度が 最大12Mbpsに制限されます。

◎ PS/2 109キーボード、USB109キーボード

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。



※:USB109キーボードは、デザインに若干の違いがあります。

テンキー










参照 / 指紋センサのご利用方法→『指紋センサ(ライン型) ユーザーズガイド』

キーの使い方

◎特殊なキーの使い方

キー操作	説 明
[Shift] + [Caps Lock]	ー度押すとCaps Lockランプが点
	灯し、アルファベットを入力すると大
	文字が入力されます。
	もう一度押すとCaps Lockランプ
	が消灯し、アルファベットを入力する
	と小文字が入力されます。
【半角/全角/漢字】	ー度押すと日本語入力システムがオ
	ンになり、日本語が入力できるよう
	になります。
	もう一度押すと日本語入力システム
	がオフになり、日本語が入力できな
	くなります。
[Alt]+	日本語入力システムがオンになって
【カタカナ ひらがな/ローマ字】	いるとき、一度押すとかな入力モー
	ドになり、キー上面のかな文字で日
	本語を入力できるようになります。
	もう一度押すとローマ字入力モード
	になり、キー上面のアルファベットの
	組み合わせで日本語を入力できる
	ようになります。
【Num Lock】	一度押すとNum Lockランプが点
	灯し、テンキーの数字が入力できる
	ようになります。もう一度押すと
	Num Lockランプが消灯し、テンキー
	の記号を入力したり、キーに刻印さ
	れている機能を使用することができ
	るようになります。
[Scroll Lock]	一度押すとScroll Lockランプが点
	灯し、もう一度押すと消灯します。
	アブリケーションによって機能が異
	なります。

キー操作	説 明
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになって
	いるとき、一度押すと英数字が入力
	されるようになります。
【カタカナ ひらがな/ローマ字】	日本語入力システムがオンになって
	いて英数字が入力されるモードになっ
	ているとき、一度押すとひらがなや
	カタカナを入力できるようになります。
(Fn)	他のキーと組み合わせて機能を実
(テンキー付きPS/2小型キーボードのみ)	行します。

◎ホットキー機能(【Fn】の使い方)

テンキー付きPS/2小型キーボードをお使いの場合は、【Fn】と他のキーを 組み合わせることで、設定をキー操作で簡単に調整することができます。 これをホットキー機能といいます。

キー操作	機能	説明
【Fn】+【↑】	Page Up	【PgUp】の役割
【Fn】+【↓】	Page Dn	【PgDn】の役割
【Fn】+【←】	Home	【Home】の役割
【Fn】+【→】	End	【End】の役割

キーボードの設定

Windowsでキーボードをより使いやすく設定することができます。設定 について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

マウス

ここでは、マウスの使用方法について説明します。

参照 / マウス→Windowsのヘルプ

マウスについて

本機には、PS/2マウス、または光センサーUSBマウスが添付されています。

◆PS/2ボールマウス





マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して離す操作です。特に指定 がない場合は左ボタンを使います。

USB光センサーマウスは、マウス底面にある赤い光によって映し出され る陰影をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次 のような表面では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動 かない)場合があります。

- ・ 反射しやすいもの(鏡など)
- 透明、半透明なもの(ビニールやガラスなど)
- 光沢があるマウスパッドや机など
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の 写真など)
- ・ 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

◎ スクロールホイールの使い方

スクロールホイールを上方向に回転させたり、下方向へ回転させること で上下にスクロールします。

また、スクロールホイールをクリックしたり、押し続けたときにスクロー ルアイコンが表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動 かすと画面を上下にスクロールさせることができます。スクロールホ イールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

▲ ◆ チェック! ______ スクロールホイールはアプリケーションによっては使用できない場合 があります。

ディスプレイ

本機に接続できるディスプレイの種類と、表示できる解像度と表示色について説明しています。

使用上の注意

- ・別売のディスプレイPC-KM174、PC-KM212は使用できません。
- ・リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了 したときに、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に自動 的に設定されます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでくだ さい。機種によってはリフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定を 「画面の設定」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポー トしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れることがあ ります。
- ・ 本機では、デジタルディスプレイを使用することはできません。

画面表示の調整

液晶ディスプレイで、文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあると きは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュ アルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

解像度と表示色

解像度と表示色は、本機のグラフィックアクセラレータのサポートする 解像度と表示色です。実際に表示できる解像度と表示色は接続するディ スプレイにより異なります。ディスプレイごとの表示能力は、次の表をご 覧ください。

▼↓チェック!」

液晶ディスプレイでは、サポートする最大解像度よりも、解像度を小さく 設定した場合は、拡大表示となることがあります。拡大表示では、文字の 線や太さが不均一になったり、ぼやけた感じになることがあります。

●15型液晶ディスプレイの場合

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [kHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	LCD52VM-V
		37.9	60	0
800×600	00,030巴	46.9	75	0
	1,677万巴**	53.7	85	Х
	0E E 00 A	48.4	60	0
1,024×768	65,536色 1,677万色 [*]	60.0	75	0
		68.7	85	×
1,280×1,024	65,536色 1,677万色 [*]	64.0	60	Х
		80.0	75	×
		91.1	85	Х
	65,536色 1,677万色*	75.0	60	×
1.600×1.200		93.8	75	×
		106.3	85	×
1,680×1,050	65,536色 1,677万色*	65.3	60	×

※: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。LCD52VM-Vでは、ディザリ ング機能により、約1,619万色を実現しています。

●17型液晶ディスプレイの場合

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [kHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	LCD72VM-V
	05 5004	37.9	60	0
800×600	00,000E	46.9	75	0
	1,677万巴**	53.7	85	×
	05 500 4	48.4	60	0
1.024×768	65,536色 1,677万色*	60.0	75	0
		68.7	85	×
1.280×1.024	65,536色 1,677万色 [*]	64.0	60	0
		80.0	75	0
		91.1	85	×
	05 500 4	75.0	60	×
1.600×1.200	65,536色	93.8	75	×
	1,677万色**	106.3	85	×
1.680×1.050	65,536色 1,677万色*	65.3	60	×

※: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。LCD72VM-Vでは、ディザリ ング機能により、約1,619万色を実現しています。

●19型液晶ディスプレイの場合

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [kHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	LCD92VM-V
	05 5004	37.9	60	0
800×600	00,030円	46.9	75	0
	1,677万巴**	53.7	85	Х
1.024×768 1.677万色 [*]	05 5004	48.4	60	0
	65,536色 1,677万色 [*]	60.0	75	0
		68.7	85	Х
1,280×1,024	65,536色 1,677万色 [*]	64.0	60	0
		80.0	75	0
		91.1	85	Х
	65,536色	75.0	60	×
1,600×1,200		93.8	75	×
	1,677万巴*	106.3	85	×
1.680×1.050	65,536色 1,677万色*	65.3	60	×

※: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。LCD92VM-Vでは、ディザリ ング機能により、約1,619万色を実現しています。

●20.1型ワイド高精細TFTディスプレイ(デジタル/アナログ共用)の場合

解像度	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	LCD2070WNX-V
[ドット]		[kHz]	[Hz]	アナログ接続
	CE EOCA	37.9	60	0
800×600	00,000円 1 077下去※	46.9	75	0
	1,677万巴""	53.7	85	×
	0E E004	48.4	60	0
1,024×768	65,536色 1,677万色*	60.0	75	0
		68.7	85	×
65,536 1,280×1,024 1,677万	0E E004	64.0	60	0
	1,677万色 ^{**}	80.0	75	0
		91.1	85	×
	0E E 00 A	75.0	60	×
1,600×1,200	65,536色 1,677万色*	93.8	75	×
		106.3	85	×
1.00011.050	65,536色	05.0		
1,680×1,050	1,677万色*	65.3	60	0

※: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。LCD2070WNX-Vでは、ディ ザリング機能により、約1,619万色を実現しています。

● 別売のディスプレイを使う場合

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [kHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	アナログディスプレイ
	05 5064	37.9	60	0*
800×600	00,030E	46.9	75	0*
	1,677万巴	53.7	85	0*
	05 5004	48.4	60	0*
1.024×768 1.6	65,536巴 1,077下在	60.0	75	0*
	1,677万巴	68.7	85	0*
65,536色 1.280×1.024 1.677万色	05 500 2	64.0	60	0*
	65,536色	80.0	75	0*
	1,677万色	91.1	85	0*
	05 500 4	75.0	60	0*
1.600×1.200	65,536色	93.8	75	×
	1,677万巴	106.3	85	×
1,680×1,050	65,536色 1,677万色	65.3	60	0*

※: グラフィックアクセラレータのサポートする解像度と表示色です。実際に表示で きる解像度と表示色は接続するディスプレイにより異なります。 また、液晶ディスプレイでは、サポートする最大解像度よりも小さく設定した場合 は拡大表示となることがあります。拡大表示では、文字の線や太さが不均一になっ

たり、ぼやけた感じになることがあります。

メモ

実際に表示できるモードについて詳しくは、お使いのディスプレイに添 付のマニュアルをご覧ください。

別売のディスプレイを使う

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディス プレイを使用する場合は、「解像度と表示色」(p.43)を参考に、適合する ディスプレイを使用してください。 アナログインターフェイスのディスプレイを接続する場合は、本体のア ナログRGBコネクタに接続してください。

ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義され ているディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Power Management System)に対応しています。

工場出荷時の設定は、マウスやキーボードからの入力がない状態が続く と、約60分でスリープ状態にするように設定されています。

参照 / ディスプレイの省電力機能→Windowsのヘルプ

- 省電力機能に対応していないディスプレイでは、本機能は使用できません。ディスプレイに損傷を与える可能性がありますので、ご利用の前にディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- 「電源オプション」の「ディスプレイの電源を切る時間の設定」と「個人 設定」の「スクリーンセーバー」タブの「スクリーンセーバー」の「待ち 時間」に同じ時間を設定しないでください。

メモ

本機は、省エネルギーのため工場出荷時にスリープ状態になるように設 定してあります。

ハードディスク

ハードディスクとはWindowsやアプリケーションなどのソフトウェア や、作成したデータを磁気的に記録して、読み出すための装置です。

使用上の注意

ハードディスクは、非常に精密に作られていますので、次の点に注意して ください。

- ハードディスクのデータを破損させる外的な要因には次のようなもの があります。
 - ・過度な振動
 - ・高熱
 - ・落雷
- データの読み書き中(アクセスランプの点灯中)には、少しの衝撃が故 障の原因になる場合があります。
- ハードディスクが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、自分で作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。重要なデータはCD-Rなどのハードディスク以外の媒体に、定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- 本機のハードディスクには、「ディスクの管理」でドライブ番号が割り 当てられていない領域が表示されている場合があります。この領域は 再セットアップ時に必要になる「再セットアップ領域」やAlwaysアッ プデートエージェントを起動させるための領域ですので、「ディスクの 管理」から削除などの操作を行わないでください。
- 参照 / ・ディスクの管理→Windowsのヘルプ
 - ・「再セットアップ領域」の削除→『活用ガイド 再セットアップ編』の 「PART2 付録」
 - ・Alwaysアップデートエージェントの削除→「活用ガイド ソフトウェア 編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Alwaysアップデートエー ジェント」

◆SMART機能

本機に標準装備されているハードディスクは、S.M.A.R.T (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology)に対応しているため、 ハードディスクの異常を監視し、ハードディスクの故障が予見された 場合は警告を送出します。

ハードディスクのメンテナンス

本機には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つため のメンテナンスソフトが組み込まれています。 ハードディスクに障害や断片化があった場合、可能な範囲で修復するこ とができます。

参照 ハードディスクのメンテナンスについて→ 『活用ガイド ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスク のメンテナンス」の「その他のメンテナンス」

フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに 書き込んで保存することができます。

使用上の注意

- フォーマットしていないフロッピーディスクをマイコンピュータなど で選択すると、フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯 し続けたり、フォーマットしようとするとフォーマット開始までの時 間が長くかかる場合があります。これは、フロッピーディスクの種類を 判別しているためなので、処理が開始されるまでしばらくお待ちくだ さい。
- フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、アクセスランプ が点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを 取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因に なります。
- フロッピーディスクに飲み物などをこぼした場合は使用しないでくだ さい。
- フロッピーディスクは、利用するときにだけフロッピーディスクドラ イブに入れてください。フロッピーディスクを長期間フロッピーディ スクドライブに入れたままで使用すると、ほこりによって読み書きエ ラーの原因になります。
- ・同じフロッピーディスクを連続して使用しないでください。連続使用 によりフロッピーディスクに劣化が生じ、読み書きエラーの原因にな ります。

◎フロッピーディスクドライブを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限でフロッピー ディスクドライブの有効/無効を設定して、使用を制限することができ ます。

また、添付のDeviceProtectorでもフロッピーディスクドライブの有効/ 無効を設定できます。「セキュリティ機能/マネジメント機能」の「セキュ リティ機能」(p.75)

フロッピーディスクドライブの取り付け

フロッピーディスクを使用する場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-BU28)をUSBコネクタに取り付けてください。



参照 USBコネクタ使用時の注意や機器の取り付け/取り外し→「USBコネクタ」 (p.71)

使用できるフロッピーディスクの種類

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類の媒体があります。本機で読み書き、またはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスク の種類	容量	Windows Vista	
の住众		読み書き	フォーマット
	640KB	×	×
200	720KB	0	×
	1.2MB	0	×
200	1.44MB	0	0

参照 / フロッピーディスクのフォーマット→Windowsのヘルプ

メモ

- ・ 1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1,024バイト/セク タ)の2種類があります。1.25MB(1,024バイト/セクタ)は、PC-9800シ リーズでサポートしているモードです。
- ・未使用のフロッピーディスクをフォーマットするには多少時間がかかります。

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないように するために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになってい ます。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み 出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要 なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしてお く習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く 方にスライドさせると、書き込み禁止になります。

書き込み可能 き込み禁止

CD/DVDドライブ

使用上の注意

- CD/DVDドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによって、データが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- アクセスランプの点灯中は、ディスクを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因になります。
- ディスクの信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないように注意してください。
- 特殊な形状のディスクや、ラベルが貼ってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。
- CD/DVDドライブにディスクをセットすると、「自動再生」画面が表示 される場合があります。その場合は、実行したい操作を選んでから 「OK」ボタンをクリックしてください。どの操作を選べばよいかわから ない場合は、ウィンドウの右上の
- ・8センチCDを利用する場合は、横置きにしてください。
- 市販の12cmディスクへの変換アダプタを使用すると、CD/DVDドラ イブやディスクを破損することがありますので、使用しないでください。
- CD/DVDディスクに飲み物などをこぼした場合は使用しないでくだ さい。

◎ CD/DVDドライブを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限でCD/DVDドラ イブの有効/無効を設定して、使用を制限することができます。 また、添付のDeviceProtectorでCD/DVDドライブの読み込み以外の機 能を制限することができます。

参照 / 「セキュリティ機能/マネジメント機能」の「セキュリティ機能」(p.75)

各部の名称と役割

メモ

イジェクトボタンや非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、モデル によってイラストと多少異なる場合があります。

✓ チェック? _____ アクセスランプ点灯中は電源スイッチやディスクトレイイジェクトボ タンを押さないでください。故障の原因になります。



※:ヘッドフォン端子やヘッドフォンボリュームは、機種によっては、ない場合 があります。

ディスクトレイイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

・アクセスランプ

CD/DVDドライブが動作しているときに点灯します。

- ・非常時ディスク取り出し穴
 CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが
 出てこなくなった場合に使用します。
- ヘッドフォン端子(〇)
 ミニプラグのステレオ ヘッドフォンを接続します。この端子で聞くことができるのは、音楽CDの再生音だけです。また、ヘッドフォンを耳にあてたままジャックの抜き差しをしないでください。
- ヘッドフォンボリューム
 CD/DVDドライブのヘッドフォン端子に接続したヘッドフォンの音量を調節します。

使用できるディスク

お使いのモデルにより、内蔵のCD/DVDドライブで使えるディスクは異なります。それぞれのモデルのCD/DVDドライブで使用できるディスクについては、『はじめにお読みください』の「9 付録 機能一覧」をご覧ください。

メモ ディスクの規格

CD/DVDディスクの規格には次のようなものがあります。

規格	概要
CD-ROM	パソコンで見るためのデータが入っているCDです。
CD-R	データを書き込むことができるCDです。CD-Rはデータを一
CD-RW	度だけ書き込むことができます。CD-RWはデータを繰り返し
	書き換えることができます。
ビデオCD	MPEG1という圧縮方式で記録された動画用のCDです。
フォトCD	写真を最大100枚まで記録できる追記型のCDです。
音楽CD	ー般の音楽CDのことです。音楽CDの一種で、音楽CDにパソ コンで見ることができる文字や画像が記録されている「CD Extra」
	があります。
DVD-ROM	パソコンで見るためのデータが入っているDVDです。CD- ROMの約7倍(片面一層の場合)のデータ容量があります。
DVD-Video	MPEG2という圧縮方式で記録された動画用のDVDです。
DVD-R	データを書き込むことができるDVDです。
DVD+R	
DVD-RW DVD+RW	データを繰り返し書き換えたり、追記できるDVDのことです。
DVD-R DL	片面二層のDVD-Rです。片面一層のDVD-Rの約2倍のデータ 容量があります。
DVD+R DL	片面二層のDVD+Rです。片面一層のDVD+Rの約2倍のデー 夕容量があります。
DVD-RAM	データを繰り返し書き換えたり、追記できるDVDのことです。カー
	トリッジに入ったディスクや、両面に記録できるディスクもあります。
	両面タイプのディスクでは、約9.4GBのデータを記録できます。

◎DVD-R、DVD-RAMディスク利用時の注意

- DVD-RおよびDVD-RAMディスクには、著作権法の定めにより私的録 画補償金およびコピープロテクション(CPRM:Copy Protection for Recordable Media)が含まれたディスク(for Video)と含まれないディ スク(for Data)がありますので、ご購入の際にはご注意ください。
- DVD-RAMには、カートリッジなしのディスクと、TYPE1(ディスク取り出し不可)、TYPE2(ディスク取り出し可能)、TYPE4(ディスク取り出し可能)の4種類があります。本機のCD/DVDドライブでは、カートリッジなし、またはカートリッジからディスクを取り出せるタイプ (TYPE2、TYPE4)のみご利用になることができます。ご購入の際には、ご注意ください。
- ・ 片面2.6GBのDVD-RAMおよび、両面5.2GBのDVD-RAMは、読み込みのみ可(書き込み、フォーマット不可)。カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAMディスクは使用できません。
- ・両面9.4GBのDVD-RAMディスクは面ごとに4.7GBの記録/再生が可能です。同時に両面への記録/再生はできません。ディスクを取り出して、裏返して使用してください。

読み込みと再生

本機のCD/DVDドライブで、読み込みや再生ができるディスクについて は、『はじめにお読みください』の「9 付録 機能一覧」をご覧ください。 また、CD-R/RW with DVD-ROMモデルおよびDVDスーパーマルチモ デルにはDVD-Video再生のアプリケーションとして「WinDVD for NEC」が添付されています。

🏹チェック‼ _

- ・ WinDVD for NECは工場出荷時にはインストールされていません。
- WinDVD for NECで、DVDディスクやビデオCDを再生する場合、再 生するディスクの種類によっては、コマ落ちが発生することがありま す。
- ・ WinDVD for NECでは音楽CDの再生はできません。
- 参照 「活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「WinDVD for NEC」

◎ディスク再生時の注意

本機でCDやDVDの読み込みや再生を行うときは、次のことに注意して ください。

- 本機で記録したCDやDVDを他の機器で使用する場合、フォーマット 形式や装置の種類などにより使用できない場合があります。
- ・他の機器で記録したCDやDVDは、ディスク、ドライブ、記録方式などの状況により、本機では記録再生性能を保証できない場合があります。
- ・コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDの再生はできないこと があります。
- 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Disc の規格準拠を示す<u>ご</u>でマークの入ったディスクを使用してください。
- ・ CD (Compact Disc)規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができ なかったり、音質が低下したりすることがあります。
- ・ CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
- ・本機では、日本国内向け(リージョン2)および地域制限なし(リージョン0(ゼロ))以外のリージョンコードのDVDは再生できません。
- 本機で再生できるCD、またはDVDのディスクサイズは8センチと12センチです。
- ・ DVD-Videoディスクを再生する場合、次のことに注意してください。
 - DVD-Videoディスクの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、 コマ落ちや音飛びが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があり ます。DVD-Videoディスクの再生中は、再生画面の上に他のウィンド ウを重ねないでください。
 - DVD-Videoディスクの再生時に画面がちらつく場合があります。ま た、再生するDVD-Videoディスクの種類によっては、コマ落ちが発生 する場合があります。

書き込みとフォーマット

DVDスーパーマルチモデルまたはCD-R/RW with DVD-ROMモデルで、 CDやDVDへの書き込み、書き換え、およびフォーマットをするには、 「Easy Media Creator 9」が必要です。

<u>参照</u>/『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Easy Media Creator 9」

ХE

CD/DVDへの書き込みはWindows Vistaの機能でも行うことができま す。選択可能な各フォーマットの説明についてはWindowsのヘルプをご 覧ください。

◎ご注意

- ・書き込みに失敗したCD-R、DVD-R、DVD+R、DVD+R DL、DVD+R DL、 ディスクは読み込めなくなります。書き損じによるディスクの補償は できませんのでご注意ください。
- データの書き込みをした後に、データが正しく書き込まれているか確認してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の CD/DVDドライブでは使用できない場合がありますのでご注意くだ さい。
- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Videoなどの複製や改変を行う場合、著作権を保有していなかったり、 著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利 用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルの CD-ROMなどの利用許諾条件や複製などに関する注意事項に従って ください。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽CDの作成ができないことがあります。

非常時のディスクの取り出し方

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク 取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出 すことができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして 代用できます。

▼チェック!

- ・ 強制的にディスクを取り出す場合は、本体の電源が切れていることを 確認してから行ってください。
- CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが 出てこないといった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使っ て取り出さないようにしてください。

サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。 音声は外部のオーディオ機器などから再生することができます。

音量の調節

◎音量ミキサを使う

Windowsの「音量ミキサ」で音量を調節することができます。

- 1 画面右下の通知領域の(1)(音量)をクリック
- 2 表示されたウインドウから「ミキサ」をクリック 「音量ミキサ」が表示されます。
- **3** 調節したいデバイスやアプリケーションのスライダで音量を 調節する
- 参照 音量ミキサについて→Windowsのヘルプ

◎録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

- 1 マイクなどの録音機器を接続する
- 2 画面右下の通知領域の

 「Realtek HD オーディオマネージャ」をダブルクリック

 「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。
- 3 使用する録音デバイスのタブをクリック

______チェック!__

録音デバイスが複数ある場合は、使用する録音デバイスのタブをクリッ クし、「Set Default Device」ボタンをクリックしてください。

4 「録音ボリューム」欄の右側のスライダで録音音量を調節する

5 「OK」ボタンをクリック

マイクの設定

◎ [Realtek HD オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、マイクでの録音時のノイズ抑制やエコーの軽減、ビームフォーミング機能の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

- 1 画面右下の通知領域の劉(Realtek HD オーディオマネー ジャ)をダブルクリック 「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。
- **2** [マイク]タブをクリック
- **3 設定する機能にチェックを付ける** 設定できる機能には、次のものがあります。
 - ・「ノイズ抑制」 録音時のノイズ抑制を行います。
 - 「音響エコーキャンセル」
 録音時にスピーカが引き起こすエコーを軽減します。
 - 「ビームフォーミング(指向性録音)」
 ステレオマイク使用時に、マイクを向けていない方向からの雑
 音を軽減します。この項目を選択すると「マイクロホンの校正」
 ウィンドウが表示されるので、画面に従って調整を行ってくだ
 さい。

4 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

これでマイクの設定は完了です。

LAN(ローカルエリアネットワーク)

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続することにより、離れた所に あるコンピュータ同士で、データやプログラムなどを共有したり、メッ セージを送受信することができます。

LANへの接続

本機には、以下のLAN機能が搭載されています。

	1000BASE-T/100BASE-TX /10BASE-T (ギガビットイーサネット対応)	100BASE-TX /10BASE-T
タイプMH (コンパクトタワー型)	0	_

◎:標準装備

メモ

1000BASE-Tまたは100BASE-TXは、従来のEthernet(10BASE-T)の環境にも接続できます。従来のネットワーク構成を変更せずに既存のハブやLANケーブルを変更するだけで、高速化がはかれます。本機は、どちらの環境にも接続することができます。

◎LANの設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などの技術 が必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わ せください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、弊社製品を 使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の 責任は負いかねますので、ご了承ください。 本機をネットワークに接続するには、別売のLANケーブルが必要です。 LANケーブルは、10BASE-Tで接続するにはカテゴリ3以上、100BASE-TX で接続するにはカテゴリ5以上、1000BASE-Tで接続するにはエンハンス ドカテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。

また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコ ネクタを増やす必要があります。

LANケーブルの接続方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

- 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネット ワーク管理者の指示に従って、LANケーブルの接続を行ってください。
- ・ 搭載されているLANボードは、接続先の機器との通信速度 (1000Mbps/100Mbps/10Mbps)を自動検出して最適な通信モー ドで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。な お、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は 有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機 能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信 モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モー ドを半二重(Half Duplex)に設定してください。

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機 器のマニュアルをご覧ください。

運用上の注意

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LANケーブルを外さないでください。ネットワーク が切断されます。ネットワーク接続中にLANケーブルが外れたときは、 すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用でき ない場合は、Windowsを再起動してください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークでの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。

- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、 ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

◎ ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE(米国電気電子技術者協会)で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、内蔵LANのユニバーサル管理アドレスを確認することができます。

コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押 してください。

net config workstation

(アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク(ワークス テーション)」という項目の()内に表示されます。)

ipconfig /all

(アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。)

LANの 設定

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。

参照 必要な構成要素の詳細について →Windows Vistaのヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

◎ ネットワークソフトウェアのセットアップ

、 チェック??_____ 工場出荷時は、ネットワークプロトコル(TCP/IP)が設定されています。

1 「スタート」ボタン→「ネットワーク」をクリック

- 2 メニューバーの「ネットワークと共有センター」をクリック
- 3 「タスク」欄にある「ネットワーク接続の管理」をクリック
- **4** 「ローカルエリア接続」をダブルクリック
- **5** 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は「続行」ボタンを クリック
- 6 「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする

メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワー ク管理者に相談してください。

7 「OK」ボタンをクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。 続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

◎接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコン ピュータ名を設定します。

- 【 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「システム」をクリック
- 3 「タスク」欄の「システムの詳細設定」をクリック
- **4** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は「続行」ボタ ンをクリック
- 5 「コンピュータ名」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリック
- 6 「コンピュータ名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する

メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク 管理者に相談してください。

- 7 「OK」ボタンをクリック 確認のメッセージが表示されます。
- 8 「OK」ボタンをクリック
- **9** 「閉じる」ボタンをクリック
- 10 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動 する」ボタンをクリック 本機が再起動します。

これでLANの設定は完了です。

リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)の設定

本機のLANによるリモートパワーオン機能は次の通りです。

- ・電源が切れている状態から電源を入れる
- スリープ状態や休止状態からの復帰

本体およびLAN ボードがリモートパワーオン機能に対応しているパソ コンでは、本体の電源が切れているときも、リモートパワーオン用の専用 コントローラは通電されています。管理パソコンはESMPRO/Client Managerなどからのリモートパワーオンのコマンド指示により、パワー オンを指示する特殊なパケット(Magic Packet)を離れたところにある パソコンに送信します。そのパケットを離れたところにあるパソコン(本 機)の専用コントローラが受信すると、専用コントローラはパワーオン動 作を開始します。これにより離れたところにある管理パソコンから、LAN 接続された本機の電源を入れることができます。リモートパワーオン機 能を利用するためには、管理パソコンにMagic Packetを送信するための ソフトウェア(ESMPRO/Client Managerなど)のインストールが必要 です。また本機のBIOS設定が必要になります。

前回のシステム終了(電源を切る、スリープ状態にする、休止状態にする) が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできま せん。一度電源スイッチを押してWindowsを起動させ、再度、正常な方 法でシステム終了を行ってください。

◎ 電源の切れている状態からリモートパワーオン機器を利用するための設定

電源が切れている状態からのリモートパワーオン機能を利用するには、 次の設定を行ってください。

 本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を 数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

参照 / BIOSセットアップユーティリティについて

→「PART4 システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」 (p.108)

- 2 「Advanced」メニューにある「Power Management Setup」 メニューの「Resume On LAN」を「Enabled」に設定する
- **3** 【F10】を押す

「Save configuration changes and exit setup?」と表示されます。

4 【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

必要に応じて、起動時のパスワードの設定も行ってください。

これで設定は完了です。

参照、起動時のパスワードの設定

→「PART4 システム設定」の「設定項目一覧」の「「Security」メニュー」 (p.118) ◎ スリープ状態または休止状態からリモートパワーオン機器を利用する ための設定

▲チェック!!: ・前回のシステム終了が正常に行われなかった場合、リモートパワーオ ン機能を使用して電源を入れることはできません。一度電源スイッチ を押して本機を起動し、もう一度正しい方法で電源を切ってください。 ・以下の設定を行う場合は、コンピュータの管理者情報(Administrator) 権限)を持つユーザーアカウントで本機にログインしてください。

- 「デバイスマネージャ」を開き、「ネットワークアダプタ」をダブ ルクリック
- 参照 / 「デバイスマネージャ」の開き方→「デバイスマネージャの開き方」(p.6)
 - 2 表示されている有線LANアダプタを選択し、ダブルクリック
 - 3 「電源の管理」タブをクリック
 - 4 次の3つの項目にチェックを付ける
 - 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
 - 「このデバイスで、コンピュータのスリープ状態を解除できるようにする」
 - 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスリープ状態を解除 できるようにする」

5 「OK」ボタンをクリック

これで、設定は完了です。

ネットワークブート機能(PXE搭載)

管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- · OSインストール
- ・ BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)
- ・BIOS設定変更

✓ チェック? _____ ネットワークブートを使用するには、別途PXEに準拠した運用管理ソフトが必要です。

×E

上記の作業を行う際に、ネットワークからの起動が必要になった場合は、 本機起動時に「NEC」ロゴの画面で【F12】を数回押すことでネットワーク ブートが可能になります。



【F12】を押しても、ネットワークブートができないことがあります。この 場合は、【F12】を押す間隔を変えてください。

USBコネクタ

USB対応機器は、一般の周辺機器と異なり、本機の電源を入れた状態のまま、接続したり取り外すことができます。

使用上の注意

- ・ USB2.0の転送速度を出すにはUSB2.0対応の機器を接続する必要があ ります。また、USB2.0の機器をUSB1.1規格のハブで利用した場合は USB1.1の転送速度に制限されます。
- ・ 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが 残っている場合は、全てのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタ に接続しているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してくだ さい。

なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があり ます。

- ・ USB機器の抜き差しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってく ださい。
- USBコネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したりす ると、信号が読み取れずに不明なデバイスとして認識されることがあ ります。その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、正しく接続し直 してください。
- 初めてUSB機器を接続したときに、画面に何も表示されない場合は、 USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。 いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態中、スリープ状態へ移行中、スリープ状態から復帰中、休止状態中、休止状態へ移行中、休止状態から復帰中のときは、USB機器を抜き差ししないでください。
- USB機器を接続した状態では、スリープ状態に移行できない場合があります。スリープ状態に移行する前にUSB機器を外してください。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、USBハブを本機に 接続してからUSB機器を接続するようにしてください。USBハブに USB機器を接続した状態でUSBハブを本機に接続すると、USB機器が 正常に認識されないことがあります。
- USB機器の有無にかかわらず「デバイスマネージャ」ウィンドウにある「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」は削除、無効にしないでください。

 ・ USBポートの電源供給能力は、1 ポートあたり動作時は最大500mA、 スリープ時は数十mA程度です。これ以上の電流を消費するバスパワー ドのUSB機器は電源の寿命を低下させるおそれがありますので接続 しないでください。

メモ

- ・本機でのUSB機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュ アルをご覧いただくか、各機器の発売元にお問い合わせください。な お、NEC製のUSB機器の情報は、NECビジネスPC/Express5800情報 発信サイト「NEC 8番街」(http://nec8.com)から次の手順で確認して ください。
 - 1. 「NEC 8番街」のホームページで「サポート情報」をクリック
 - 2. 「商品情報・消耗品」をクリック
 - 「商品詳細・適合情報」-「ビジネスPC(Mate&VersaPro)」にある「PC 本体/オプション検索(新旧モデル情報/適合情報)」をクリック
 - 4. 「旧モデル検索(最新機種も含む)」にある「PC本体型番検索」をクリック お使いのモデルの型番で検索し、接続できる製品を確認してください。
- ・ 接続する機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

○ USB機器を制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限でUSBコネクタ の有効/無効を設定し、USB機器の使用を制限することができます。 また、添付のDeviceProtectorで、USB機器の使用を接続するUSB機器単 位で制限することができます。

参照/「セキュリティ機能/マネジメント機能」の「セキュリティ機能」(p.75)

接続する前に

機器によっては、接続する前や接続した後にドライバのインストールや、 スイッチなどの設定が必要な場合があります。接続するUSB機器のマ ニュアルをご覧になり、ドライバなどのインストールに必要なCD-ROM やフロッピーディスクが添付されていれば用意してください。
メモ

- 接続してすぐ使うことができるUSB機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでからお使いください。
- ・ USB機器は、本機の電源を入れたままの状態でも接続できます。接続前 に電源を切る必要はありません。

USB機器の取り付け

1 USBコネクタ(+↔)にプラグを差し込む

USBコネクタは、どのコネクタに接続してもかまいません。プラグ の向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

接続したUSB機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、接続後さらに別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB 機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB機器の取り外し

USB機器によっては、機器を接続すると画面右下の通知領域にかあ示 されます。このような機器の取り外しは、数をダブルクリックして表示さ れる「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウで行います。正しく取 り外しを行わないと、本機が正常に動作しなくなることがありますので、 「PART2 周辺機器を接続する前に」の「周辺機器の取り外しと再接続」 (p.87)をご覧になり、正しい手順で取り外しを行ってください。



本機は、システム管理者が効率よく本機を運用するための機能を備えて います。

セキュリティ機能/マネジメント機能について

システム管理者の効率のよい運用のため、本機には次のセキュリティ機能やマネジメント機能があります。

- ・ スーパバイザパスワード/ユーザパスワード
- ・ ハードディスクパスワード機能
- ・ I/O制限
- ・指紋認証機能^{*1}
- ・ FeliCaポート*2
- ・ 筐体ロック
- ・ ケーブルストッパ
- DEP(Data Execution Prevention)機能
- ウイルス検出・駆除
- セキュリティチップ機能^{*3}
- · NASCA*3
- ・暗号化ファイルシステム(EFS)*3
- DeviceProtector
- ・ リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)
- ネットワークブート機能(PXE搭載)

※1:指紋センサ機能付きUSB 109キーボードモデルのみ
 ※2: FeliCa対応モデルのみ
 ※3: Windows Vista Businessのみ

セキュリティ機能

本機には、機密データの漏洩や改ざんを防止したり、コンピュータウイル スの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。

◎スーパバイザパスワード/ユーザパスワード

BIOSセットアップユーティリティの使用者を制限し、また本機の不正使 用を防止するための機能です。

メモ

- スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動
 や本機の起動を制限するためのパスワードです。
- ユーザパスワードは、マスタパスワードと同じくBIOSセットアップ
 ユーティリティの起動や本機の起動を制限するためのパスワードです。

また、ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動した場合、設定できる項目が制限されます。本機の管理者と使用者が異なるときに、使用者が設定変更してしまうことを防止する場合などに有効です。

◆BIOSセットアップユーティリティの使用者の制限

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。

スーパバイザパスワードまたはユーザパスワードを入力しないかぎ り、BIOSセットアップユーティリティは起動できません。また、ユーザ パスワードを入力して起動した場合は、設定可能な項目が制限されま す。

◆本機の不正使用の防止

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定し、BIOSセット アップユーティリティで「Password Check」を「Always」に変更して ください。

本機の起動時にパスワード入力画面表示され、起動するにはスーパバ イザパスワードまたはユーザパスワードの入力が必要になります。

参照 / BIOSセットアップユーティリティについて

「PART4 システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」 (p.108)

ズチェック!_ ユーザパスワードは、スーパバイザパスワードが設定されていなけれ ば設定できません。

- NECに本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- ・ 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本 機を再セットアップしても解除できません。
- パスワードやパスワードの解除の方法を忘れたときのために、事前に 利用されている装置のBIOSセットアップユーティリティの 「「Security」メニュー」(p.118)および「PART5 付録」の「ストラップ スイッチの設定」(p.134)を印刷しておくことをおすすめします。

◎ハードディスクパスワード機能

本機のハードディスクにハードディスクパスワードを設定することで、 本機のハードディスクを本機以外のパソコンに取り付けて使用するとき にパスワードの入力が必要になり、不正使用や重要なデータの漏洩を防 止できます。

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワードと ハードディスクユーザパスワードの2つがあります。

◆ハードディスクマスタパスワード

ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。

◆ハードディスクユーザパスワード

本機とハードディスクの認証を行うためのパスワードです。 ハードディスクユーザパスワードを設定することで、本機のハードディ スクが本機以外のパソコンで不正使用されることを防止できます。

参照 / 「PART4 システム設定」の「設定項目一覧」の「「Security」メニュー」(p.118)

_______チェック!! _

- ハードディスクユーザパスワードは、ハードディスクマスタパスワードが設定されていなければ設定できません。
- ハードディスクパスワードは、本機のハードディスクが本機以外のパ ソコンで不正使用されることを防止するためのものであり、本機の不 正使用を防止するものではありません。本機のデータへの不正アクセ スを防止するためにも、本機の他のセキュリティ機能とあわせてお使 いください。
- ご購入元またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパス ワードは解除または無効にしておいてください。また、パスワードを 解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際に、使用し ていたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクのパスワードを忘れた場合、NECに持ち込んでも ロックの解除はできません。ハードディスクに保存されているデータ は二度と使用できなくなり、ハードディスクも有償で交換することに なります。ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意し てください。

◎I/O制限

本機では、BIOSセットアップユーティリティで外部とのデータ交換の手 段であるI/Oを使用できないように制限することができます。 この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響 を及ぼすアプリケーションのインストールを防止することができます。 本機では、次のI/Oを制限することができます。

- ・フロッピーディスクドライブ※
- · CD/DVDドライブ
- ・USBコネクタ
- ※: USBフロッピーディスクドライブを使用するため、USBコネクタを制限すること でフロッピーディスクの使用を制限できます。

参照/「PART4 システム設定」の「設定項目一覧」

指紋認証機能は、指紋センサ機能付きUSB 109キーボードモデルのみ使用できます。

この機能は、指紋センサ機能付きUSB 109キーボードモデルのみの機能 です。

指紋認証機能とはパスワードの入力のかわりに、指紋センサを使って指 紋による認証を行うシステムです。

本機ではNASCAと連携して、Windowsのセキュリティを強化すること ができます。

- 参照/・『指紋センサ(ライン型)ユーザーズガイド』
 - 「アプリケーションCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.pdf」

◎FeliCaポート

_ ▼チェック!_____ 「FeliCaポート」は、FeliCa対応モデルのみ使用できます。

NASCAと連携し、FeliCaに対応したカードを利用して、Windowsログオ ンやスクリーンセーバーのロック解除、Webサイトのパスワード代替な どを行うことができます。また本機は、Edy機能搭載カードをサポートし ています。

- ・『FeliCaポートマニュアル』(「FeliCa Secure Client/FeliCaポート自己 診断CD-ROM」の「f_manual」フォルダの「index.htm」
 - 「アプリケーションCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User'sGuide.pdf」

◎筐体ロック

別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS14)を利用することで、本体を 机などに繋ぐことができ、パソコン本体の盗難防止に効果的です。 また筐体の開閉を防ぐことができるため、内蔵機器の盗難防止にも効果 的です。 ◎ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。

参照 / 「PART3 周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」(p.98)

◎DEP(Data Execution Prevention)機能

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能で す。

コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行 しないようにすることができます。

工場出荷時の状態では、有効になっています。

◎ウイルス検出・駆除

ベチェック!! _ ウイルスバスターおよびAlwavsアップデートエージェントは、工場出 荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには「ウイルスバ スター」を使用します。

また、本機ではAlwaysアップデートエージェントを使用し、Windowsの 起動前にウイルスパターンファイルのアップデートを行うことができる ため、従来よりもウイルス感染の危険性を低減できます。

- 参照・『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」 の「ウイルスバスター」
 - 『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Always アップデート エージェント」

▲ 「チェック!」 Windows Vista Businessモデルのみ使用できます。

本機は、ハードウェア的にTPM (Trusted Platform Module)と呼ばれる セキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化 の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。 また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り 外して持ち出されてもデータを読み取られることはありません。

参照 「Mate/Mate J 電子マニュアル」の「セキュリティチップ ユーティリティ マ ニュアル」

NASCA

・ NASCAは、工場出荷時にはインストールされていません。

· Windows Vista Businessモデルのみ使用できます。

NASCAは、指紋やFeliCaなど、複数の認証方法を使用した高度な個人認 証機能です。認証を受けていない第三者が本機を使用することを防止し たり、Webサイトへのアクセスに必要な情報(パスワードなど)を自動的 に保存、入力することができます。保存された情報は、セキュリティチッ プと連携することによって、安全に管理されます。

参照 「アプリケーションCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.pdf」

◎暗号化ファイルシステム(EFS)

、 ** チェック! _ ハードディスク暗号化ユーティリティは工場出荷時にはインストール されていません。

EFS(Encrypting File System)は、Windows Vista Businessの標準ファ イルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。 暗号化を行ったユーザー以外は、データの復号化が行えません。そのた め、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

また、Windows Vista Businessモデルでは、「ハードディスク暗号化ユー ティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設 定することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「ハードディスク暗号化ユーティリティ」

 \bigcirc DeviceProtector

▼チェック!/ __ DeviceProtectorは、工場出荷時にはインストールされていません。

本機で使用できるIDE機器、USB機器を制限することができます。内蔵の CD/DVDドライブ、USBメモリ、USB接続のハードディスクを使用して接 続された外部記憶装置を制限することで、情報の漏洩防止に効果的です。

DeviceProtectorでは、次のような機能を制限することができます。

- フロッピーディスクドライブ
- ・ 内蔵CD/DVDドライブなどのIDE機器
- ・ シリアルポート/パラレルポート
- USB機器
- 参照 「活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「DeviceProtector」

マネジメント機能

本機には、システム管理者のパソコンからネットワークに接続された他 のパソコンの電源やシステムを遠隔操作して管理するために、次のよう なマネジメント機能があります。

◎ リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)

LAN経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。

- 参照 ・「LAN (ローカルエリアネットワーク)」の「リモートパワーオン機能 (Remote Power On機能)の設定」(p.67)
 - 「PART4 システム設定」の「設定項目一覧」の「「Advanced」メニュー」 (p.112)

◎ネットワークブート機能(PXE搭載)

クライアントのPCのシステムが起動する前に管理者PCからOSをロード することができます。別途、PXE (Preboot eXecution Environment)に 準拠した運用管理ソフトウェアが必要です。

参照 / 「PART4 システム設定」の「設定項目一覧」の「「Boot」メニュー」(p.127)



周辺機器を接続する前に

ここでは、取り付けられる周辺機器や取り付ける際の注意事項について 説明します。

この章の読み方

必ず次ページの「周辺機器利用上の注意」から順番にお読みください。

この章の内容



周辺機器利用上の注意

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

◎周辺機器の対応状況の確認

取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマニュ アルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製の周辺 機器で接続可否の確認がとれているものについては、NECビジネスPC/ Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」(http://nec8.com)から次の 手順で確認してください。

- 1. 「NEC 8番街」のホームページで「サポート情報」をクリック
- 2. 「商品情報・消耗品」をクリック
- 高品詳細・適合情報」-「ビジネスPC(Mate&VersaPro)」にある「PC本 体/オプション検索(新旧モデル情報/適合情報)」をクリック
- 4.「旧モデル検索(最新機種も含む)」にある「PC本体型番検索」をクリック お使いのモデルの型番で検索し、接続できる製品を確認してください。

◎周辺機器の取り付け/取り外し時の注意

- ・周辺機器の取り付け/取り外しをする際は、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をご覧ください。
- 本機がスリープ状態または休止状態の場合は、周辺機器の取り付けや 取り外しは行わないでください。このような場合は、いったん復帰させ てデータを保存し、電源を切ってから取り付けや取り外しを行ってく ださい。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行って ください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえ用意してください。
- ・ 周辺機器を使用する際は、使用する周辺機器の取扱説明書をご覧くだ さい。

◎リソースの競合について

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。「デバイスマネージャ」で、 その周辺機器で使用されるリソースが空いているかどうか確認してくだ さい。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソースを空け て、取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を変更します。

参照 リソースの競合について→『活用ガイド ソフトウェア編』の「トラブル解決 Q&A」の「周辺機器」

プラグ&プレイについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア) のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行う機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows によって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイ スドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場 合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが 添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセット アップを行ってください。

デバイスドライバのインストール

- ・周辺機器によっては、デバイスドライバのインストールが必要な場合 があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要なデバイスドラ イバをインストールしてください。
- デバイスドライバをインストールした後、本機の再起動を求められる ことがあります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起 動してください。
- デバイスドライバをインストールした後の再起動は、通常よりも時間 がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないで ください。
- ・最新のデバイスドライバがNECビジネスPC/Express5800情報発信 サイト「NEC 8番街」(http://nec8.com)で提供されている場合があり ますので、定期的に確認してください。

×E

修正モジュールやアップデートモジュールの情報は、次の手順で表示される「NECサポートプログラム |から確認できます。

- 1. 「NEC 8番街」のホームページで「サポート情報」をクリック
- 2. 「ダウンロード·OS情報·注意事項 | をクリック
- 3. 「ダウンロード」にある「ビジネスPC (Mate&VersaPro)/プリンタ (MultiWriter&MultiImpact)/PC周辺機器」をクリック

接続がうまくできない場合

◆ケーブルは正しく接続されていますか?

見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、 ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接続 されているか、確認してください。また、本体内部に機器を取り付けたと きには、気付かないうちに内部の信号ケーブルなどを引っぱってしまっ て、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がき ちんと取り付けられているかどうか、確認してください。

◆デバイスドライバは組み込みましたか? 最新のものですか?

周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、使 うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧になり、デバイスド ライバを組み込んでください。また、周辺機器のデバイスドライバは、知 らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「デバイス ドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった場合は、 デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようになることも あります。周辺機器の製造元に問い合わせて、最新のデバイスドライバ を入手してください。なお、NEC製の最新ドライバはNECビジネスPC/ Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」(http://nec8.com)から入 手することができます。

メモ

ドライバは次の手順でダウンロードしてください。 表示される「NECサポートプログラム」から確認できます。 1.「NEC 8番街」のホームページで「サポート情報」をクリック

- 2.「ダウンロード·OS情報·注意事項」をクリック
- 3. 「ダウンロード」にある「ビジネスPC (Mate&VersaPro)/プリンタ (MultiWriter&MultiImpact)/PC周辺機器」をクリック

周辺機器の取り外しと再接続

周辺機器の中でも、USB対応機器、PCカード、コンパクトフラッシュ カードなどは、本機の電源を入れたまま取り付け、取り外しができます。 ただし、画面右下の通知領域に■が表示されている周辺機器は、正し い手順で取り外しを行わないと、本機が正常に動作しなくなることが あります。取り外しを行う場合は、必ず次の手順で取り外しを行ってく ださい。

1 画面右下の通知領域にある ■をクリック

■が表示されていない場合は▼をクリックし、隠されている通知 領域のアイコンを表示してください。すべてのアイコンを表示して も■がない場合は手順4に進んでください。

2 表示される「×××××を安全に取り外します」から、取り外す 周辺機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されま す。

表示される「×××××を安全に取り外します」に取り外す周辺機 器が無い場合は手順4に進んでください。

3 「OK」ボタンをクリック

4 周辺機器を取り外す

以上で周辺機器の取り外しは完了です。

同じ周辺機器を再接続する場合は、デバイスドライバなどを再インス トールする必要はありません。ただし、メッセージが表示されたり、画面 が少しの間止まったように見えることがあります。メッセージが表示さ れた場合はメッセージに従ってください。画面が止まったように見える 場合も機器の故障ではありません。しばらく待てば使用できます。



周辺機器の利用

ここでは、本機に取り付けられる別売の周辺機器や内蔵機器の取り付け 方法について説明します。

この章の読み方

次ページの「接続できる周辺機器」を読んだ後に、目的に合わせて次に該 当するページをお読みください。

この章の内容

接続できる周辺機器	90
本体カバー類の開閉	92
ケーブルストッパ	98
メモリ	101



本機には、次のような別売の周辺機器を取り付けられます。

本体に接続できる周辺機器一覧

本機のそれぞれのコネクタや端子に接続できる周辺機器について説明します。

◎本体背面







ここでは、メモリを取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し方 について説明します。

ルーフカバーの開け方

メモリを取り付ける場合は、本体のルーフカバーを開けて作業を行います。

✓ チェック! 装置の使用直後は、板金部品は高温になっていますので、手を触れるとやけどする恐れがあります。電源を切った後、30分以上経ってから内蔵機器の取り付け/取り外しを行うことをお奨めします。

- 1 本機の電源を切る
- 2 本体に接続されている全てのケーブル、コード類(電源コード など)を取り外す
- 3 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す
- 4 横置きにしている場合は、手順7へ進む 縦置きにしている場合は、本体を横に置く

_**◇●チェック**? ______ スタビライザを取り外したときに、本体が衝撃を受けないよう、机の端な どでスタビライザの取り外しを行ってください。

メモ

本体を横に置くときは、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚 手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



5 上側のスタビライザのストッパを手前に引いて、筐体のツメか らストッパを外し、そのままスタビライザを左側にスライドさ せて取り外す



スタビライザを本体から取り外すときは、指を挟んだり、ぶつけたり、 切ったりしないように注意してください。

- 6 もう一方のスタビライザのストッパも手順5と同様の方法で外し、スタビライザを右側にスライドさせて取り外す
- 7 左右のスライドストッパを内側にずらしてロックを外す



8 ルーフカバーを本体前面側にスライドさせ、止まったところで そのまま持ち上げて取り外す



ルーフカバーの閉じ方

ダチェック!__

サイドカバーを閉じるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしな いように注意してください。

ルーフカバーを取り付けるときには、次のように作業すると閉じやすく なっています。

1 ルーフカバーの端が本体背面から30mmほどの位置になるように被せ、ルーフカバーの金具を本体の穴に通すようにして本体背面側にスライドさせる



2 スライドストッパを外側にずらしてロックする スライドストッパ 人



- 3 横置きにしている場合は、手順7へ進む 縦置きで使用する場合は、机の端などに本体を横置きにし、本 体を安定させる
- 4 上側のスタビライザを本体のツメに合わせる



5 スタビライザを右方向にスライドさせ、スタビライザのストッパをロックする

★チェック?
 スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、
 切ったりしないように注意してください。



- 6 もう一方のスタビライザも、手順4から手順5と同様の方法で本体のツメに合わせてから左方向にスライドさせ、取り付けたら縦置きにする
- 7 盗難防止用の錠を使用する場合は、錠を取り付ける
- **8** ケーブル、コード類(電源コードなど)を必要に応じて取り付ける



キーボードやマウスの盗難防止とともに、ケーブル抜け防止のために、 ケーブルストッパでケーブルを本体に固定します。

取り付け前の確認

本機にケーブルストッパを取り付ける前に、ケーブルストッパが、本機に 添付されていることを確認してください。

ケーブルストッパの取り付け

- 1 「ルーフカバーの開け方」の手順でルーフカバーを開ける (p.92)
- 2 ケーブルストッパをキーボード、マウスケーブルの上から被せた状態でケーブルストッパのツメ(ネジ穴のない側)を本体の 溝に差し込む



3 ケーブルストッパをキーボード、マウスケーブルの上から被せた状態でケーブルストッパのネジ穴と本体のネジ穴を合わせ、本体内側から本機に添付のネジで固定する



4 「ルーフカバーの閉じ方」の手順でルーフカバーを閉じる (p.95)

ケーブルストッパの取り外し

- **1** 「ルーフカバーの開け方」の手順でルーフカバーを開ける (p.92)
- **2** 本体内側からネジを外して、ケーブルストッパとケーブルを取り外す



- **3** ケーブルストッパのツメ(ネジ穴のない側)を本体の溝に差し 込み、取り外したネジで取り付ける
- **4** 「ルーフカバーの閉じ方」の手順でルーフカバーを閉じる (p.95)

メモリ

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、 別売の増設RAMボード(以降、メモリ)を取り付けることで、メモリを増 やすことができます。

取り付け前の確認

本機にメモリを取り付ける前に、取り付けられるメモリ、取り付け順序、 スロットの位置を確認します。

本機には、メモリスロットが2つあり、別売のメモリを取り付けることに より最大2GBまで増設できます。

◎取り付けられるメモリ

本機には、メモリを1枚単位で、最大2枚まで取り付けられます。 取り付け可能なメモリの情報は、NECビジネスPC/Express5800情報発 信サイト「NEC 8番街」(http://nec8.com)から次の手順で確認してくだ さい。

- 1. 「NEC 8番街」のホームページで「サポート情報」をクリック
- 2. 「製品情報確認」にある「ビジネスPC製品検索」をクリック
- 3. 「旧モデル検索(最新機種も含む)」にある「PC本体型番検索」をクリック お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なメモリを確認してく ださい。

メモリを本機に取り付ける場合、必ず「NEC 8番街」で取り付け可能となっているメモリをお使いください。

なお、市販のメモリに関する動作保証やサポートはNECでは行っていま せん。販売元にお問い合わせください。

◎スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。ス ロット0から順番に取り付けることになります。メモリ容量による取り付 け順序の制限はありません。

■メモリ組み合わせ例

合計容量	スロットロ	スロット1
512MB	512MB	—
1GB(1024MB)	512MB	512MB
1GB(1024MB)	1GB	—
2GB(2048MB)	1GB(1024MB)	1GB(1024MB)

◎スロットの位置



メモリの取り付け

🍼 チェック!! _

- メモリは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態でメモリを扱うと破損する原因になります。メモリに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- メモリのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、 故障の原因になります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- メモリを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネク タ部やメモリが故障する原因になります。取り付け方向に注意してく ださい。
- 取り付け前に、本機で使用できるメモリであることを確認してください。
- メモリ取り付けの際は、メモリスロット以外の、本体内部の部品やス イッチに触れないでください。
- 1 「ルーフカバーの開け方」の手順で、ルーフカバーを開ける (p.92)
- 2 左右のレバーが外側に開いていない場合は、外側に広げてから、メモリを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、メモリ用コネクタに垂直に差し込み、取り付けるスロット0、1の順番で取り付けてください。

______チェック!_

メモリには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、 向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意 してください。



3 左右2か所のレバーが切り欠きBに掛かるように、メモリをしっかり押し込む



チェック?
 メモリを差し込んだ後、メモリがフックの切り欠きに掛かっていることを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。
 フックが切り欠きに掛かっていない場合は、もう一度差し直すか指で

・ フックが切り入さに掛かっていない場合は、もう一度差し直すが指で ロックさせる必要があります。指でロックする場合に強い力は必要あ りませんので、無理に押し込まないようにしてください。容易にロッ クできない場合は、メモリを取り外してから差し直してください。

4 「ルーフカバーの閉じ方」の手順で、ルーフカバーを閉じる (p.95)

メモリ取り付け後は、「メモリ容量の確認」(p.106)に従って、取り付けが 正しく行われたか確認してください。

メモリの取り外し

ダチェック!! _

- メモリは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態でメモリを扱 うと破損する原因になります。メモリに触れる前に、アルミサッシや ドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてくださ い。
- メモリのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、 故障の原因になります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- 1 「ルーフカバーの開け方 |の手順で、ルーフカバーを開ける (p.92)
- 2 メモリの左右のレバーを外側に広げる





メモリを上へ引き抜くようにして取り外す 取り外したメモリは静電気防止用の袋などに入れて保管してくだ



4 「ルーフカバーの閉じ方」の手順で、ルーフカバーを閉じる (p.95)

メモリ容量の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認し ます。

- **1** 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「システムとメンテナンス」をクリックし、「システム」をクリック

「システム」欄の「メモリ(RAM):」に表示されている「*******MB」 が総メモリ容量です。

メモリ容量が増えていない場合は、メモリが正しく取り付けられている か、再度確認してください。

ジチェック!

- BIOSセットアップユーティリティの「Main」メニューの「System Memory」でも、確認することができます。メモリの容量を確認すると、 搭載されている容量より少なく表示されることがあります。これはメ インメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。
- メモリを増設した場合、メモリの組み合わせによっては、初期化のために電源を入れてからディスプレイに画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。



システム設定

この章では、本機のBIOSセットアップユーティリティについて説明しま す。BIOSセットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力など本機 の使用環境を設定することができます。

この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップユーティリティについて」を読んだ後に、 目的に合わせて該当するページをお読みください。

この章の内容

BIOSセットアップユーティリティについて	108
設定項目一覧	111

BIOSセットアップユーティリティについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップユーティリティ が内蔵されています。

BIOSセットアップユーティリティの起動

本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を数
 回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

✓チェック!
ディスプレイ特性により、「NEC」ロゴの画面が表示されず【F2】を押すタイミングが計れない場合があります。また、キーボード特性により、「NEC」ロゴの画面が表示されても【F2】キーが有効にならない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた後、キーボード上のNum Lockランプが点灯するタイミングで【F2】を数回押してください。

BIOSセットアップユーティリティの終了

◆変更を保存して終了する

【F10】を押す

確認の画面が表示されます。 中止したいときは【Esc】を押してください。

2 「Ok」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了しま す。

メモ

メニューバーの「Exit」で「Save & Exit Setup」を選んでBIOSセットアッ プユーティリティを終了することもできます。
◆変更を保存しないで終了する

- 1 キーボードの【←】【→】でメニューバーの「Exit」を選ぶ メニューが表示されます。
- 2 キーボードの【↓】で「Discard Changes and Exit」を選んで [Enter]を押す [Discard Changes and exit setup?]と表示されます。
- **3** 「Ok」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定の変更をせずにBIOSセットアップユーティリティが終了し ます。

工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

1 本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら[F2]を 押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

2 【F9】を押す

「Load Optimal Defaults?」と表示されます。

3「Ok」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 工場出荷時の設定値を読み込みます。

4 【F10】を押す

「Save configuration changes and exit setup?」と表示されます。

5 「Ok」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

以上で作業は終了です。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

- ・ 操作はキーボードで行います。
- 【→】でメニューバーのカーソルを選択し、【↑】【↓】で設定項目を 選択します。設定内容は、【Enter】でメニューを表示して【↑】【↓】や 【+】【-】で変更することができます。
- 「System Date」「System Time」の設定ではカーソル移動は【Tab】で行います。





ここではBIOSセットアップユーティリティで、どのような設定ができる かを説明しています。表中の反転部分は工場出荷時の設定です。 表中の()で囲まれた項目は設定を変更しないでください。

「Main」メニュー

設定項目	設定値	説明
BIOS Version		搭載されているBIOSのバージョ
		ンが表示されます。
Product Name	—	型番が表示されます。
Serial Number	—	製造番号が表示されます。
System Time*	HH:MM:SS	現在の時刻を「時:分:秒」で入力
		します。
System Date*	MM/DD/YYYY	日付を「曜日(表示のみ)/月/日
		/年」で入力します。
Floppy A	Disabled	フロッピーディスクドライブAのモー
	360KB	ドを選択します。「Disabled」に
	1.2MB	設定するとフロッピーディスクド
	720KB	ライブが使用できなくなります (I/O
	1.44MB	制限)。
	2.88MB	
(Primary IDE)	—	この項目の設定は変更しないで
\Master		ください。現在マザーボードの
		IDEインターフェイスに接続され
		ているIDEデバイスが表示され
		ます。【Enter】を押すと設定画
		面になります。
(Primary IDE)	—	この項目の設定は変更しないでく
\Slave		ださい。「Primary IDE Master」
		の設定と同じです。
(Secondary IDE)	—	この項目の設定は変更しないでく
\Master		ださい。「Primary IDE Master」
		の設定と同じです。
(Third IDE	—	この項目の設定は変更しないでく
\Master		ださい。「Primary IDE Master」
		の設定と同じです。

※:ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

設定項目	設定値	説明
CPU Type	_	搭載されているCPUの種類が表
		示されます。
CPU Speed	_	搭載されているCPUの速さ(クロッ
		ク数)が表示されます。
System	_	システムメモリの容量が表示さ
Memory		れます。

「Advanced」メニュー

設定項目	設定値	説明
Advanced	-	BIOS固有の詳細な機能
BIOS Setup		について設定します。
		【Enter】を押すと設定画
		面になります。
Advanced	-	チップセット固有の詳細な
Chipset		機能について設定します。
Setup		【Enter】を押すと設定画
		面になります。
Integrated	-	周辺機器の機能について
Peripherals		設定します。【Enter】を
		押すと設定画面になります。
Power	-	省電力の設定を行うため
Management		の設定項目について説明
Setup		します。この項目にカーソ
		ルを合わせ【Enter】を押
		すと設定画面になります。

メ モ I/O制限

I/O制限は、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないようにす る(制限する)機能です。I/Oを「Disabled」に設定することで制限するこ とができます。対象となるインターフェイスは、フロッピーディスクドラ イブ(OnBoard Floppy Controller)、シリアルポート(Serial Port1 Address)、パラレルポート(Parallel Port Address)、USBポート(USB 1.1 OHCI Controllers)、CD/ DVDドライブ(PATA Controller)です。

**、
、**チェック! _

「Hyper Threading Technology」、「No-Execute Memory Protection」の設定は変更しないでください。

設定項目	設定値	説明
Clear NVRAM	Disabled	「Enabled」を選択すると、
	Enabled	NVRAMの初期化を行い
		ます。
		ただし、再起動時には
		「Disabled」に戻ります。
Quick Boot	Disabled	起動時のクイックブートの
	Enabled	使用を設定します。
		「Enabled」の場合、一部
		のテストをスキップするので、
		起動時間が短縮されます。
Silent Boot	Disabled	「Disabled」に設定すると、
	Enabled	起動時にBIOSチェック情
		報を表示します。「Enabled」
		に設定すると、「NEC」ロ
		ゴの画面が表示されます。
Bootup Num-	Off	起動時にNum Lockをオ
Lock	On	ンにするかを設定します。
		Windows起動時では、
		Windows上の設定が優
		先されます。
Hyper	Disabled	搭載しているCPUの
Threading	Enabled	Hyper Threading機能の
Technology		有効/無効を設定します。
No-Execute	Disabled	搭載しているCPUのNo-
Memory	Enabled	Execute Memory Protection
Protection		機能を利用できるように設
		定します。「Enabled」に
		設定するとDEP機能が利
		用できます。

設定項目	設定値	説明
Intel	Enabled	Intel(R) SpeedStep(tm)
Speed Step	Disabled	機能の動作の有効/無効
Technology		を設定します。

ХE

「Hyper Threading Technology」、「Intel SpeedStep Technology」は、 モデルによって表示されないものがあります。

◎Advanced Chipset Setup

設定項目	設定値	説明
UMA Frame	32MB	割り当てるグラフィックスメ
Buffer Size*1*4	64MB **3	モリの容量を設定します。
	128MB **3	設定により使用可能な拡張
	256MB	メモリサイズも増減します。
USB 1.1 OHCI	Disabled	USB機能の有効/無効を
Controllers	Enabled	設定します(1/0制限)。
USB 2.0 EHCI	Disabled	USB2.0機能の有効/無効
Controllers*2	Enabled	を設定します。「USB 1.1
		OHCI Controllers」を
		「Enabled」に設定している
		場合のみ表示されます。
Legacy USB	Disabled	USB接続のキーボードおよ
Support	Enabled	びマウスのレガシー機能の有
		効/無効を設定します。「USB
		1.1 OHCI Controllers」を
		「Enabled」に設定している
		場合のみ表示されます。

- ※1: パソコン本体のメモリ容量が256Mバイトの場合、グラフィックスメモリサイズ を「128MB」以上に設定しても、64Mバイトで割り当てられます。
- ※2: 指紋センサ機能付きUSB 109キーボードは、USB2.0接続となっています。
- **3: この項目は搭載メモリ容量が512Mバイト以下の場合「64MB」、768Mバイト以上 の場合「128MB」が初期値となります。
- ※4: Windows Vistaでは、本機の使用状況によってビデオメモリサイズが自動で変更 されます。ビデオメモリサイズは、最小がこの項目の設定値、最大はこの項目の設 定値と本機の搭載メモリの容量によって異なります。

設定項目	設定値	説明
USB Storage	Disabled	USBストレージデバイス
Device	Enabled	のレガシーエミュレーショ
Support*		ンの有効/無効を設定しま
		す。本項目は「Legacy
		USB Support」の設定
		が「Enabled」の場合に設
		定が可能です。
USB Storage	-	接続されたUSBストレー
Device		ジデバイスのエミュレーショ
Configuration		ンタイプを設定します。本
		項目は「USB Storage
		Device Support」の設
		定が「Enabled」の場合に
		設定が可能です。また、
		USBストレージデバイス
		が接続された場合のみ表
		示されます。
		接続するUSBストレージ
		デバイスによっては正しく
		動作しない場合があるので、
		そのときは本項目を適切
		な設定に変更してください。
		たとえば、接続された
		USBストレージデバイス
		のブートイメージがFDフォー
		マットで作成されている場
		合は、本項目を「Forced
		FDD」に変更してください。
Network	Enabled	ネットワークブート機能の
Boot Agent	Disabled	有効/無効を設定します。

※: Enabledに設定した場合、USBメモリやメモリスロット付きUSBプリンタを接続して起動すると、そのデバイスから優先的に起動を試みてHDDから起動しない場合があります。その場合は、起動順位の設定(Bootメニュー)で「Hard DiskDrives」の起動順位を「Removable Drives」より優先させる等の変更を行ってください。

OIntegrated Peripherals

設定項目	設定値	説明
OnBoard	Disabled	内蔵フロッピーディスクコ
Floppy	Enabled	ントローラを設定します。
Controller		フロッピーディスクコント
		ローラを使用しない場合は、
		「Disabled」を選んでく
		ださい(1/0制限)。さらに、
		「Main」メニューの「Floppy
		A」を「Disabled」に設定
		する必要があります。
Serial Port 1	Disabled	シリアルポート1の1/0アド
Address	3F8/IRQ4	レスとIRQを設定します。
	2F8/IRQ3	「Disabled」に設定すると
	3E8/IRQ4	シリアルポート1が使用で
	2E8/IRQ3	きなくなります(1/0制限)。
Parallel Port	Disabled	パラレルポートの1/0アドレ
Address	378	スを設定します。「Disabled」
	278	に設定するとパラレルポー
	3BC	トが使用できなくなります
		(I/O制限)。
Parallel Port	SPP	パラレルポートの動作モー
Mode	Bi-Directional	ドを設定します。「Parallel
	EPP+SPP	Port Address」の設定
	ECP	が「Disabled」以外の場
	ECP+EPP	合に設定可能です。ご利用
		のプリンタモードについて
		はプリンタのマニュアルを
		ご覧ください。
EPP Version	1.9	EPPのバージョンを設定し
	1.7	ます。「Parallel Port Mode」
		の設定が「EPP + SPP」ま
		たは「ECP + EPP」の場合
		に設定が可能です。

設定項目	設定値	説明
ECP Mode	DMAO	パラレルポートで使用する
DMA Channel	DMA1	DMAチャネルを設定しま
	DMA3	す。「Parallel Port Mode」
		の設定が「ECP」または
		「ECP+EPP」の場合に
		設定が可能です。
Parallel Port	IRQ5	パラレルポートで使用する
IRQ	IRQ7	IRQを設定します。

○Power Management Setup

設定項目	設定値	説明
Restore on	Power Off	AC電源(AC100V)が失
AC Power	Power On	われた際に、AC電源復帰
Loss	Last State	後の動作を設定します。
		「Power Off」に設定すると、
		AC電源が復帰しても、電源
		はオフのままになります。
		「Power On」に設定する
		と、AC電源が復帰した際
		に電源がオンになります。
		「Last State」に設定す
		ると、AC電源が失われた
		ときの電源状態になります。
Resume On	Disabled	本体内蔵のLANによって
LAN	Enabled	電源を操作します。リモー
		トパワーオン機能を利用す
		るには、この項目を
		「Enabled」に設定します。

「Security」メニュー

チェック!/ スーパバイザパスワード、ユーザパスワードに使用できる文字は半角 英数字のみで、15文字以内でなければなりません。また、大文字と小 文字の区別はありません。 スーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定する場合は、パス ワードやパスワードの解除の方法を忘れたときのために、事前にこの [「Security」メニュー」および「PART5 付録」の「ストラップスイッチ の設定」(p.134)を印刷しておくことをおすすめします。 ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパス ワードは解除、および無効にしておいてください。

参照 NECのお問い合わせ先→『保証規定&修理に関するご案内』

設定項目	設定値	説明
Supervisor	_	スーパバイザパスワードの設
Password		定状態を表示します。工場出
		荷時は「Not Installed」で
		す。「Change Supervisor
		Password」でスーパバイ
		ザパスワードを設定した場合、
		「Installed」が表示されます。
User	—	ユーザパスワードの設定状
Password		態を表示します。工場出荷
		時は「Not Installed」です。
		[Change User Password]
		でユーザパスワードを設定
		した場合、「Installed」が表
		示されます。
Change	(パスワード)	スーパバイザパスワードの
Supervisor		設定を行います。設定した
Password		場合、BIOSセットアップユー
		ティリティ起動時にスーパ
		バイザパスワードを入力す
		る必要があります。
Change User	(パスワード)	ユーザパスワードの設定を
Password*		行います。スーパバイザパ
		スワードが設定されている
		場合、設定可能になります。
Password	Setup	バスワードを人力する場面
Check	Always	を設定します。 Setup」
		ではBIOSセットアップユー
		ティリティ起 動 時 に、
		Always] ではシステム
		起動時とBIUSセットアッ
		ノユーナイリナイ起動時に
		ハスワートの人力を安氷し
		より。人一ハハイリハ人ソー
		トル 成 正 さ れ し い る 場 合 、
		設正り能になりまり。

※: ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

設定項目	設定値	説 明
Hard Disk	—	ハードディスクにパスワー
Security		ドを設定します。【Enter】
		を押すと、サブメニューの
		設定画面になります。
Security Chip	_	セキュリティチップ機能の
Configuration		設定を行うことができます。
		【Enter】を押すと、サブメ
		ニューの設定画面になります。

メモ スーパバイザパスワード/ユーザパスワード

BIOSセットアップユーティリティの使用者を制限し、また本機の不正使 用を防止するための機能です。

- スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動
 や本機の起動を制限するためのパスワードです。
- ユーザパスワードは、マスタパスワードと同じくBIOSセットアップ ユーティリティの起動や本機の起動を制限するためのパスワードです。 また、ユーザパスワードでBIOSセットアップユーティリティを起動し た場合、設定できる項目が制限されます。本機の管理者と使用者が異な るときに、使用者が設定変更してしまうことを防止する場合などに有 効です。

◆スーパバイザパスワード/ユーザパスワードの解除

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードは、BIOSセットアップ ユーティリティを起動して「Security」の「Change Supervisor Password」または「Change User Password」にパスワードを入れて、 新しいパスワードに何も入れずに【Enter】を押すと解除されます。ユー ザパスワードを忘れた場合、管理者が変更することができます。なお、 スーパバイザパスワードを忘れてしまった場合のパスワードの解除方 法については「PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」(p.134)を ご覧ください。



OHard Disk Security



参照 /・ NECのお問い合わせ先→『保証規定&修理に関するご案内』

ハードディスクパスワードの再設定について→「ハードディスクパスワードの再設定」(p.123)

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワード (HDD Master Password)とハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)の2つがあります。

ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password)
 ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワードの解除方法については、「ハードディスクマスタパスワード/ハードディスクユーザパスワードの解除」(p.124)をご覧ください。

システム設定

 ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
 ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクの認証を 行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定 することにより、本機以外でハードディスクの不正使用を防止できま す。

- ハードディスクパスワードは必ずハードディスクマスタパスワード /ハードディスクユーザパスワードの両方を設定してください。
- ハードディスクパスワードは起動時のみ設定可能です。再起動時には、設定の変更はできません。
- ハードディスクマスタパスワードを設定していないとハードディス クユーザパスワードを設定することはできません。
- 設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは、当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたために使用できなくなったハードディスクを交換する場合は有償になります。ハードディスクのパスワードは忘れないように十分に注意してください。

設定項目	設定値	説明
Secondary	_	それぞれのハードディスク
Master HDD		のハードディスクパスワー
Password is		ドの設定状態を表示します。
Third Master	_	設定されている場合は
HDD Password		「Enabled」、設定されて
is		いない場合は「Disabled」
		と表示されます。ハードディ
		スクが取り付けられていな
		い場合は設定項目が表示
		されません。
Secondary	(パスワード)	ハードディスク(DE
Master HDD		Secondary Master)の
Master		ハードディスクマスタパス
Password		ワード設定画面になります。
Secondary	(パスワード)	ハードディスク(DE
Master HDD		Secondary Master)の
User Password		ハードディスクユーザパス
		ワード設定画面になります。

設定項目	設定値	説明
Third	(パスワード)	ハードディスク(Third
Master HDD		Master)のハードディス
Master		クマスタパスワード設定画
Password		面になります。
Third	(パスワード)	ハードディスク(DE
Master HDD		Third Master)のハード
User Password		ディスクユーザパスワード
		設定画面になります。

ハードディスクパスワードを有効にしても、設定したハードディスクマ スタパスワードやハードディスクユーザパスワードを本機の起動時に入 力する必要はありません。

◆ハードディスクパスワードの再設定

本機の起動時にハードディスクがロックされたという内容のメッセージ が表示された場合は、次の手順でハードディスクパスワードの再設定を 行ってください。

- ・ハードディスクユーザパスワードがわかる場合 本機の電源を落とし、再度起動して、BIOSセットアップユーティリ ティを起動し、ハードディスクユーザパスワードの再設定を行ってく ださい。
- ハードディスクマスタパスワードがわかる場合

本機の電源を落とし、再度起動して、BIOSセットアップユーティリ ティを起動し、ハードディスクマスタパスワードの再設定とハード ディスクユーザパスワードの再設定を行ってください。

- ハードディスクがロックされたという内容のメッセージが表示された状態で、HDDユーザパスワードまたは、HDDマスタパスワードを入力すると一時的にHDDパスワードのロックを解除することができます。
- 一時的に解除している状態では、スリープおよび休止状態にしないで ください。

◆ハードディスクマスタパスワード/ハードディスクユーザパスワードの解除

ハードディスクマスタパスワード/ハードディスクユーザパスワード は、BIOSセットアップユーティリティを起動して「Security」の「Hard Disk Security」サブメニューにある対象となるハードディスクの 「HDD Master Password」にハードディスクマスタパスワード*を入 れ、新しいパスワードに何も入れずに【Enter】を押すと解除されます。 ユーザーがハードディスクユーザパスワードを忘れた場合、管理者が 変更することができます。

※:一度ハードディスクマスタパスワードまたはハードディスクユーザパスワード を認証すると次回起動時まで入力の必要はありません(「Enter CURRENT Password」入力項目が表示されなくなります)。

ハードディスクマスタパスワードでBIOSセットアップユーティリティ を起動した場合、新しいパスワードに何も入力しないで【Enter】を押す と、ハードディスクマスタパスワード、ハードディスクユーザパスワード の両方が解除されます。

ダイチェック!! _

⊘Security Chip Configuration

設定項目	設定値	説 明
TPM Support	Disabled	「Enabled」を選ぶと、セキュリティチッ
	Enabled	プ(TPM)が利用可能になります。
Current TPM	-	現在のセキュリティチップ (TPM) の設定
State		状態を表示します。本項目は、「TPM
		Support」を「Enabled」に設定してい
		る場合のみ表示されます。
Change TPM	Enable&Activate	セキュリティチップ(TPM)の設定を変更しま
State	Disable&Deactivate	す。本項目は「TPM Support」を「Enabled」
	Clear	に設定している場合のみ表示されます。
	No change	「Enable&Activate」に設定すると、セキュ
		リティチップが有効になります。
		「Disable&Deactivate」に設定すると、セキュ
		リティチップが無効になります。
		「Clear」に設定すると、セキュリティチップに
		保存されているユーザ情報が初期化されます。
		「No change」を設定しているときは、現在
		の設定は変更されません。
		なお、本項目の設定を変更して、BIOSセットアッ
		プユーティリティを保存して終了すると、次回
		起動時に設定変更の確認画面が表示されます。
		「Enable&Activate」または「Disable&
		Deactivate」に設定を変更する場合は、
		[F10]キーを押してください。変更した設定
		が有効になります。「Clear」に設定を変更して、
		セキュリティチップの情報を初期化する場合は、
		[Shift]+[F10]キーを押してください。その
		他のキーを押すと設定変更は無効になり、も
		う一度設定の変更をやり直す必要があります。
		Windowsのアプリケーションを使用して、再
		起動を伴うセキュリティチップ(TPM)の変更
		を行った場合にも、次回起動時に同じように
		設定変更の確認画面が表示されます。

設定項目	設定値	説明
設た項日 Password Authentication	設在順 Disabled Enabled	「Enabled」に設定すると、セキュリティチッ ブ(TPM)の設定変更時の確認画面が表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。スーパバイザパスワードを入力した場合のみ、設定の変更が有効になります。 ユーザパスワードや間違ったパスワードを入力すると、確認画面で変更した設定 内容を有効にしようとしても、設定は無効になります。 この項目は、「スーパバイザパスワード」 を設定している状態で、「TPM Support」 が「Enabled」に設定されているときの
		か Enabled」 に設定されているとさの み表示されます。

ベンチェック!! _

- 「Security Chip Configuration」の機能をご利用になる場合は、スーパバイザパスワードとユーザパスワードを併用し、BIOSセットアップユーティリティのセキュリティレベルを強化してください。また、Bootメニューの「Boot Device Priority」にて、「1st Boot Device」に「Hard Disk Drives」を設定することを推奨します。
- セキュリティチップ機能のユーザー情報を初期化すると、Windows 上で保護したデータが参照できなくなりますので、必要なデータは参 照可能な場所に退避してから初期化を行ってください。また、本機を 廃棄する際には、ユーザー情報を初期化することで、データの漏洩を 防ぐことができます。
- セキュリティチップの初期化は「Current TPM State」が 「Enable&Activate」の場合のみ実行することができます。初期化後 は「Current TPM State」は「Disable&Deactivate」になります。
- 参照 セキュリティチップ機能について→『Mate/Mate J電子マニュアル』の「セ キュリティチップユーティリティマニュアル」

「Boot」メニュー

- 「Boot」メニューは、ユーザパスワードで起動したときには変更できません。
- USBデバイスからのブートはサポートしておりません。ただし、別売のFDドライブ(PC-VP-BU28)を使用した「ハードディスクデータ消去ツール」のブートのみサポートしています。

設定項目	設定値	説明
Boot Device	_	本機を起動するデバイス
Priority		(ブートデバイス)の優先
		順位を設定します。
		【Enter】を押すと、サブメ
		ニューの設定画面になります。
Hard Disk	—	起動するハードディスクの
Drives		優先順位を設定します。
		【Enter】を押すと、サブメ
		ニューの設定画面になります。
Removable	—	起動するフロッピーディス
Drives*		クドライブなどのリムーバ
		ブルドライブの優先順位を
		設定します。
		【Enter】を押すと、サブメ
		ニューの設定画面になります。
CD/DVD	_	起動するCD/DVDドライ
Drives		ブの優先順位を設定します。
		【Enter】を押すと、サブメ
		ニューの設定画面になります。

※: USBストレージデバイスを接続した場合に本項目は表示されます。

◎Boot Device Priority

設定項目	設定値	説明
1st Boot	CD/DVD Drives	デバイスの優先順位を設定
Device	Removable Drives	します。起動順位は「1 st
	Hard Disk Drives	Boot Device」に指定し
	Network:XXXXX	た装置から順番に起動しま
	Disabled	す。
2nd Boot	CD/DVD Drives	デバイスの優先順位を設定
Device	Removable Drives	します。
	Hard Disk Drives	
	Network:XXXXX	
	Disabled	
3rd Boot	CD/DVD Drives	デバイスの優先順位を設定
Device	Removable Drives	します。
	Hard Disk Drives	
	Network:XXXXX	
	Disabled	
4th Boot	CD/DVD Drives	デバイスの優先順位を設定
Device	Removable Drives	します。
	Hard Disk Drives	
	Network:XXXXX	
	Disabled	_
Boot from	No	「1st Boot Device」か
Other Device	Yes	ら 4th Boot Device」
		で設定された装置から起動
		できなかった場合に、他の
		デバイスから起動するかど
		うかを設定します。

起動する装置は次の通りです。

- Removable Drives
 工場出荷時に内蔵されているフロッピーディスクドライブや、スーパーディスクなどのATAPIリムーバブルデバイス
- CD/DVD Drives
 工場出荷時に内蔵されているCD/DVDドライブ
- Hard Disk Drives
 工場出荷時に内蔵されているハードディスク
- Network:XXXXX
 工場出荷時に内蔵されているLAN
- Disabled
 使用しない

◎ Hard Disk Drives

設定項目	設定値	説明
1st Drive	XXXXX	1st Driveに設定したハー
	Disabled	ドディスクドライブから起動
		します。

Removable Drives

設定項目	設定値	説明
1st Drive	XXXXX	1st Driveに設定したフロッ
	Disabled	ピーディスクドライブから
		起動します。

◎ CD/DVD Drives

設定項目	設定値	説明
1st Drive	XXXXX	1st Driveに設定した
	Disabled	CD/DVDドライブから起
		動します。





この章の読み方

目的に合わせて該当するページをお読みください。

この章の内容

割り込みレベル・DMAチャネル	132
ストラップスイッチの設定	134
お手入れについて	138



本機で使用できる周辺機器は、全て「リソース」というものを使用してい ます。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」「DMAチャネ ル」などがあります。

割り込みレベルとDMAチャネルについて

リソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リ ソースが複数の機器に割り当てられている状態(リソースの競合)では、 機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定に なってしまいますので、競合しないように設定してください。

割り込みレベル

「割り込みレベル(IRQ)」は、複数の機器から同時にCPUにアクセスした ときに、どのような順序で処理していくかを決めるものです。 本機では、ご購入時には次のように割り当てられています。

IRQ	インターフェイス	IRQ	インターフェイス
0	カウンタおよびタイマ	15	(空き)
1	PS/2接続キーボード	16	HD オーディオマネージャ
2	(空き)	17	グラフィック
З	(空き)	18	LAN
4	通信ポート(COM1)	19	USBコントローラ
5	(空き)	20	(空き)
6	フロッピーディスクドライブ	21	ACPI-Compliant System
7	(空き)	22	IDE コントローラ
8	リアルタイムクロック	23	(空き)
9	(空き)		
10	(空き)		
11	(空き)		
12	PS/2接続マウス		
13	数値演算コプロセッサ		
14	プライマリIDE		

DMAチャネル

DMAチャネル	データ幅	デバイス
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空き)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)

工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。



ストラップスイッチの設定

BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードを解除したいときに、ストラップスイッチを利用します。

設定前の確認

パスワード解除の設定をする前に、ピンセットやラジオペンチなど、小さ な物をつかむのに適した工具を用意してください。

パスワードの解除

本機では、BIOSセットアップユーティリティを使用してスーパバイザパ スワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘 れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。

▲ **ジチェック**? ______ 無断でパスワードが解除されることを防ぐために、セキュリティロック に錠を取り付けることをおすすめします。

- 1 「ルーフカバーの開け方」の手順でルーフカバーを開ける (p.92)
- 2 内蔵3.5インチベイのネジ(2か所)を外す



3 コネクタストッパのネジを緩め、図のようにスライドさせる



4 内蔵3.5インチベイを図のように持ち上げ、全てのケーブルを 外し、内蔵ハードディスクをベイごと取り出す



5 ストラップスイッチのジャンパをピンセットなどを使って、 次の図のように引き抜く

抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



5 付 録 6 内蔵3.5インチベイの突起部分を本体の穴に差し込み、ケーブ ルを元の通りに接続する



7 内蔵3.5インチベイのネジ穴と本体のネジ穴を合わせ、ネジで 固定し、コネクタストッパを元の位置に戻してネジで固定する



8 「ルーフカバーの閉じ方」の手順でルーフカバーを閉じる (p.95)

9 電源を入れ、Windowsを起動させる

10 Windowsを終了させ、電源を切る

11 1~4の手順でルーフカバーと内蔵ハードディスクを取り外す

- **12** 手順5で引き抜いたジャンパをピンセットなどを使ってスト ラップスイッチの元の場所に差し込む
- 13 6~8の手順で内蔵ハードディスクとルーフカバーを取り付け る

以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。



お手入れを始める前に



- お手入れにはシンナー、ベンジンなど揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。外装を傷めたり、故障の原因になることがあります。
- 水やぬるま湯を本機に直接かけないでください。傷みや故障の原因になることがあります。

◎準備するもの

汚れが軽い場合は、やわらかい素材の乾いたきれいな布を用意してくだ さい。汚れがひどい場合は、水かぬるま湯を含ませて堅くしぼったきれい な布を用意してください。

メモ

OA機器用クリーニングキットも汚れをふき取るのに便利です。 OA機器用クリーニングキットについては、ご購入元にお問い合わせくだ さい。

お手入れのしかた



チェック!
 水や中性洗剤は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
 シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装を傷めたり、故障の原因になったりします。

光センサー式マウスをお使いの場合、マウスの底面のセンサーにほこり などが付着して、マウスの移動を正しく読み取ることができなくなる場 合があります。

センサー周辺の汚れやほこりをかるくはらってください。

ボール式マウスをお使いの場合は、マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。次の手順で定期的にク リーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の 手順は省略してもかまいません。

1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す

2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす

5 水で中性洗剤を洗い落とす

6 布で水分を拭き取り、風通しの良いところで十分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります (このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けないでください)。



8 ボールをマウスに戻す

5 付 録

9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定

- クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
- クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにしてください。
- 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外装を傷めたり、故障の原因になったりします。
- ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤス リなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付 き、故障の原因になります。

お手入れについて 141



索引

英数字

AC電源コネクタ 18,20
BIOSセットアップユーティリティ
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ
CD-ROMドライブ 17
CD/DVDドライブ 17
DEP機能 ······ 79
DeviceProtector ······ 81
DMAチャネル 133
DVDスーパーマルチドライブ 17
FeliCaポート 78
【Fn】(エフエヌキー) 40
I/O制限
LANコネクタ 18, 19
LANの設定65
NASCA
Nキーロールオーバ ······ 34
PS/2 キーボードコネクタ 18, 19
PS/2 マウスコネクタ 18, 20
USBコネクタ 18, 19, 71
USBバスパワードハブ 35

ア行

アナログRGBコネクタ … 18, 19, 49 増 暗号化ファイルシステム ………… 81

ウイルス	•••••	•• 79
お手入れ		138

カ行

解像度	••••	43
キーボード		34
休止状態	22,	28
休止状態からの復帰		29
筐体ロック 18,	20,	78
ケーブルストッパ 18 ,	20,	98
誤挿入防止機構	1	04

サ行

サウンド機能61
指紋認証機能
省電力機能
ジャンパ 135
周辺機器 90
スクロールホイール ······ 42
スタビライザ 16, 17, 93
スリープ
スリープ状態からの復帰 28
スーパバイザパスワード … 75,120
スライドストッパ 18,20
セキュリティチップ機能 80
セキュリティ機能 75
増設RAMボード 101
タ行

タイマ			•••••	•••••	•••••	33
通信速度	度ランプ	· •••		•••••	•••••	19
通風孔		•••••		•••••	18,	19
ディス	プレイ	•••••		•••••	•••••	43
デバイ	スドライ	バ		•••••	•••••	85
デバイ	スマネー	ジャ		•••••	•••••	6
電源 ·		•••••		•••••	•••••	21
電源ス	イッチ	•••••		•••••	16,	17
電源ラ	ンプ …		•••••	16,	17,	22
盗難防」	止	•••••		•••••	20,	78

ナ行

ネッ	トワーク通信/接続ランフ	°	•••••	19
ネッ	トワークブート機能 …	••••	70,	82

ハ行

ハードディスクアクセスランプ …16,17
ハードディスク 50
ハードディスクパスワード … 76, 121
ハイパワーデバイス 35
パスワードの解除 120, 124
バックアップ 50
非常時ディスク取り出し穴 56
表示色
プラグ&プレイ85
フロッピーディスクドライブ 52
ヘッドフォン端子 16,17,56
ヘッドフォンボリューム 56

マ行

マイク端子 18,	20
マウス	4 1
マネジメント機能	82
ミニジャック	20
メモリ 1	01
メモリスロット 1	02
メモリ容量の確認 1	06

ヤ行

ユーザパスワード	•••••	75, 1	20
ユニバーサル管理ア	・ドレス	•••••	65

ラ行

ライトプロテクト 54
ライン出力端子 18,20
ライン入力端子 18,20
リソースの競合 85
リフレッシュレート 43
リモートパワーオン機能
ルーフカバー 92
ローパワーデバイス 35

ワ行

割り込みレベル ……… 132



活用ガイド ハードウェア編

PC98-**NX シリーズ Mate J** タイプMH (コンパクトタワー型)

初版 2007年1月 NEC